





## 【目次】

1	はじめに.....	1
2	目的・背景.....	2
2.1	本計画の位置づけ.....	2
2.2	計画の背景・課題.....	3
2.3	拠点づくりの必要性.....	4
3	公民館および地区の現況.....	5
3.1	周南公民館(周南地区).....	5
3.2	小糸公民館(小糸地区).....	8
3.3	小櫃公民館(小櫃地区).....	12
4	地域の思い・ニーズ等.....	16
4.1	アンケート調査.....	16
4.2	ワークショップ.....	22
5	再整備基本方針.....	26
5.1	基本理念・基本方針.....	26
5.2	施設の再整備の考え方.....	27
5.3	施設の外観・景観の考え方.....	28
5.4	民間活力の導入.....	30
6	各地区の再整備計画.....	31
6.1	周南地区:周南公民館.....	31
6.2	小糸地区:拠点施設.....	34
6.3	小櫃地区:拠点施設.....	38
7	事業スケジュール.....	42
8	【巻末資料】用語集.....	43

## 1 はじめに

本市において公民館は、各地区における社会教育の基幹的施設として、8公民館それぞれが独自の事業を実施し、地域の交流・学習の場として市民に親しまれ、様々な地域活動が展開される場として機能してきました。また、地域活力の向上や地域と学校の新たな連携づくりなどへの一層の力の発揮が期待されています。

一方で、建築から半世紀が経過し老朽化やバリアフリーが課題となっている施設もあり、安全・快適な利用のため、また、多様化するニーズ・高まる社会教育の重要性への対応のため、早急な再整備が必要となっています。

こうした課題のもと、本市では平成30年度に「君津市社会教育施設の再整備基本計画」を策定し、今後の維持・更新などの再整備、また、ソフト面での運営、展開のマスタープランを示しました。また、令和3年度には「君津市総合計画」を策定し、地域における拠点づくりを一つの柱として、公共施設の複合化・多機能化により、各施設を中心に地域の更なる活性化やにぎわいの創出、持続可能な地域づくりにつなげる施策の展開を行っていくこととしています。

本計画は、これらの計画のもと、老朽化の著しい周南、小糸、小櫃公民館の再整備について、市民ワークショップ等により地域との対話を行いながら、公民館を軸とした地域の新しい拠点施設について、担う役割や機能、施設配置、規模、再整備手法等を具体化してとりまとめたものです。

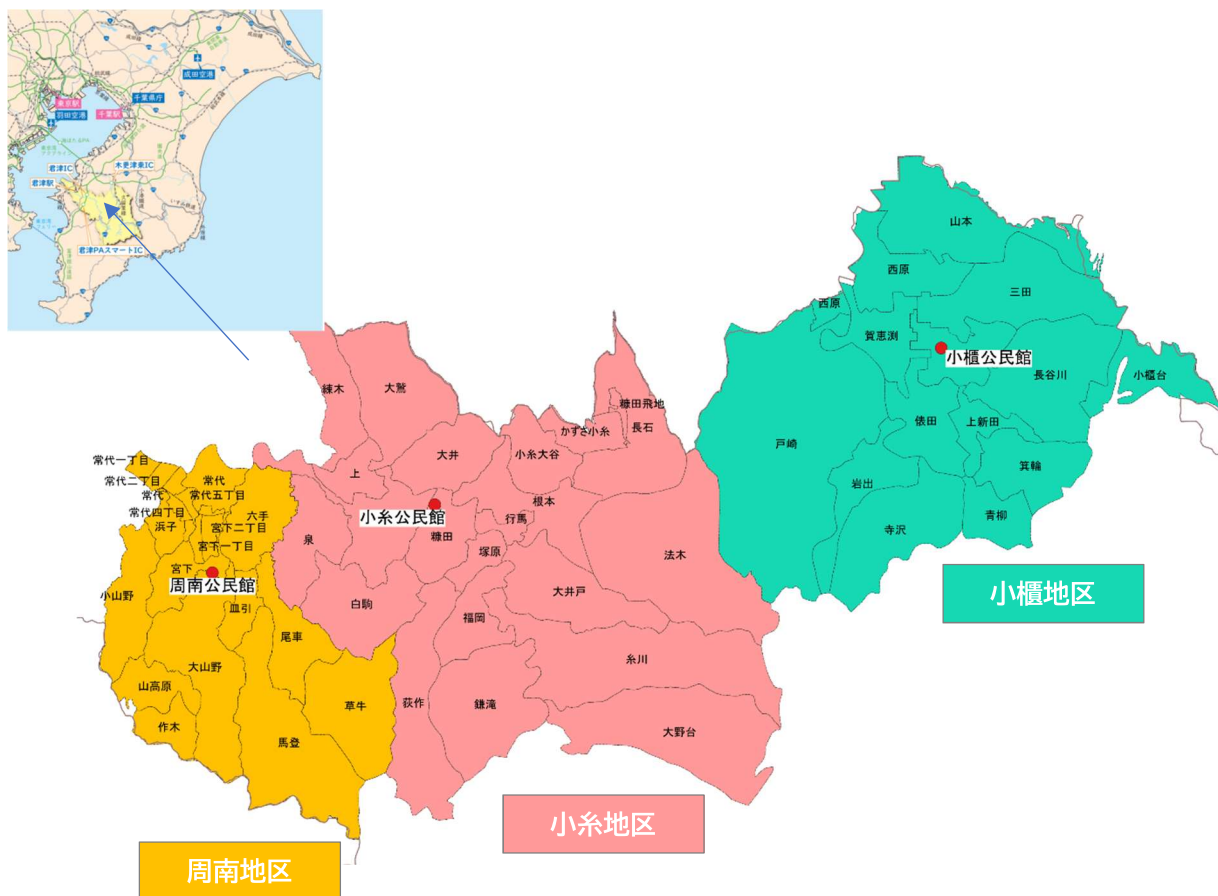


図1-1 本計画の対象地域

## 2 目的・背景

### 2.1 本計画の位置づけ

公民館等再整備においては、社会教育施設としての公民館が果たすべき役割を踏まえつつ、本市の上位計画・関連計画との整合を図りながら検討を進めていきます。

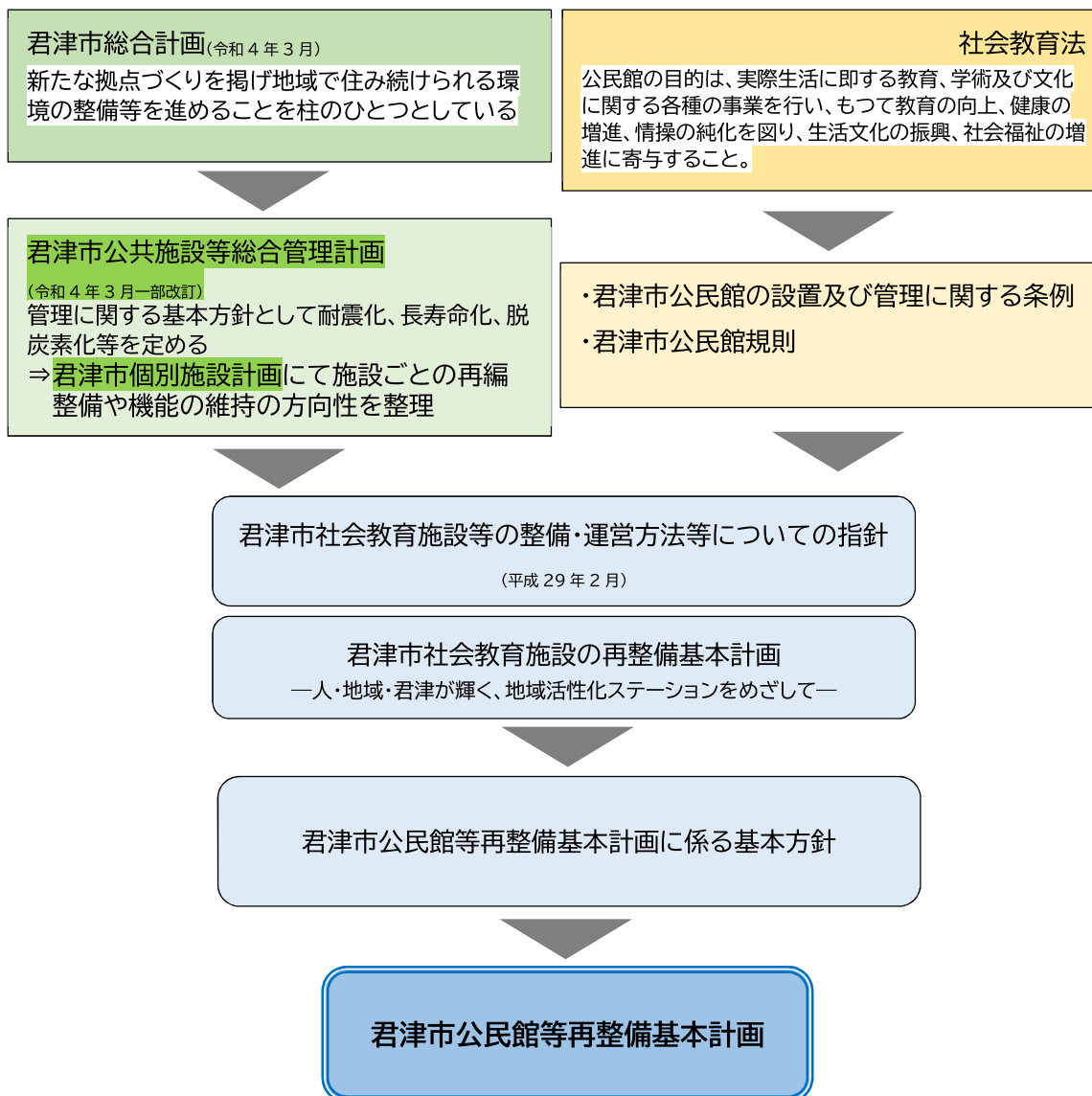


図2-1 本計画の位置づけ

## 2.2 計画の背景・課題

### (1) 施設の老朽化

本計画の対象となる周南公民館、小糸公民館、小櫃公民館はいずれも 1970 年代前半に建築されたものであり、建築後 50 年が経過しようとしています。公民館軸耐力補強工事等により安全性は確保しているものの、建物や設備は老朽化が進んでおり、耐用年数、バリアフリー対応、耐震性などの多くの問題が出てきている状況です。公民館が引き続き身近な学習・地域活動の拠点として機能するよう、また、誰もが安心・安全・快適に利用できる施設となるよう、早急に解決すべき課題のひとつとなっています。



図2-2 老朽化の状況

### (2) 地域における社会教育の振興とコミュニティの維持

各館では地域資源を活かした様々な活動が行われてきました。自助・公助・共助のバランスのとれた地域づくりや、学校と地域の絆をさらに深めるためには、市民の身近なネットワークが欠かせません。これからも各地域の活動拠点として機能していくためには、多世代の多様なニーズに対応した、柔軟な利活用が可能な施設整備が必要です。



図2-3 各館での活動

### (3) 自然災害への対応

令和元年度に発生した房総半島台風など甚大な被害を及ぼす自然災害が頻発しており、地域の避難場所として機能する公民館においては、防災機能の強化と、地域防災力(市民の防災意識等)の向上が求められます。

現状、周南公民館においては、敷地の一部が土砂災害特別警戒区域にかかっており、発災時の脆弱性が懸念されます。また、房総半島台風では多くの世帯に断水や停電が起こっており、インフラ途絶時でも機能する防災拠点づくりが必要です。

#### (4) 地区の公共施設再編と拠点形成の必要性(小糸地区・小櫃地区)

小糸地区・小櫃地区においては、公民館以外の公共施設も老朽化が進んでおり、公民館の再整備と合わせて地区内の公共施設の再編（複合化・集約化）を検討するとともに、地区の拠点形成を図っていく必要があります。

### 2.3 拠点づくりの必要性

---

「君津市総合計画」では、将来デザインとして新たな核づくりによる都市部の活性化と多様な地区の特色に応じた拠点の形成を図ることとしています。公民館等の再整備においては、地域住民と連携して地域の課題解決に向けて取り組み、各地区の活力を牽引する拠点づくりを行います。

ここで「拠点」とは、地区の行政サービス、学習、活動等の根幹となるもので、各地区の産業や生活サービス機能等が集積したエリアをイメージします。拠点には、公共施設に限らず民間施設も含め生活に必要な機能を持った「拠点施設」が立地し、さらに各地区の拠点を交通やデジタル技術でむすぶ「地区間連携」により、多極ネットワーク型のコンパクトでスマートなまちを創出して、市域全体の利便性の向上へとつなげていくことを目指します。

拠点づくりには、地域活性化及び地域課題の解決にこれまで以上に取り組んでいく必要があるため、「より身近な市の施策展開」、「市民同士の連携」、「市民自らの考えによる地域特性に応じた活動」が重要です。そのため、「行政が市民に寄り添い」、「市民による住みよい地域づくりのための学習の場」を積極的に展開し、そこから生まれる考え(プラン)を地域での活動に繋げ、このような多様な「むすび」を創出していきます。

### 3 公民館および地区の現況

#### 3.1 周南公民館(周南地区)

##### (1)周南地区の概況

周南地区は、君津インターチェンジや市道八重原線の整備により市内外からのアクセスも良く、利便性の高い立地条件にあります。地区内には市街化区域と市街化調整区域があり、都市部と山間部の特徴を併せ持っている地区となります。

また、「子ども110番の家」の活動が市内で最初に取り組みられるなど、地域ぐるみの青少年健全育成活動、コミュニティ活動も盛んです。

周南公民館では、これまで「ふるさと運動」などに早くから取り組み、そこから生まれた資料や人脈は、小中一貫教育校である周南小学校、周南中学校の授業でも活用され、地域と学校を深く結ぶ役割も担っています。



図3-1 周南地区の現況

表3-1 周南地区の公共施設

名称	所在地	敷地面積(m <sup>2</sup> )	床面積(m <sup>2</sup> )	その他
周南小学校	君津市宮下2丁目25番5号	25,950.00	5,025.00	
周南中学校	君津市宮下1丁目4番1号	32,875.00	7,219.00	
宮下公園	君津市宮下2丁目4番	11,942.57	—	都市公園



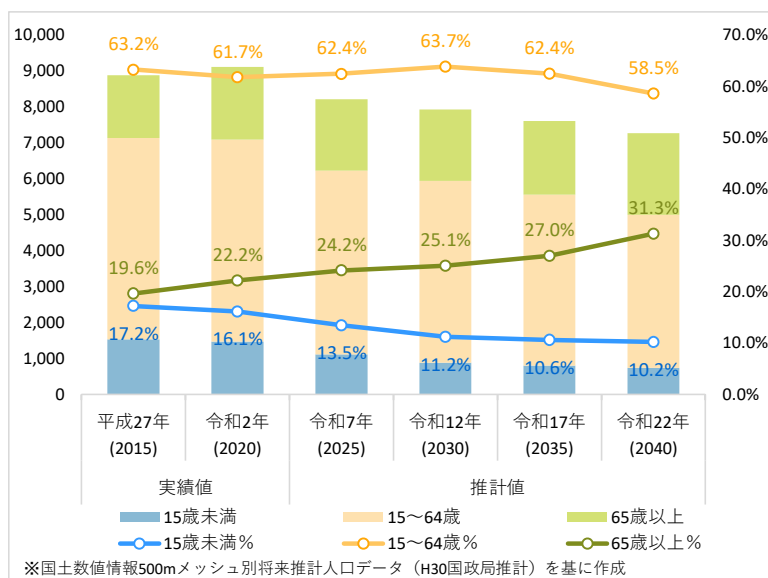
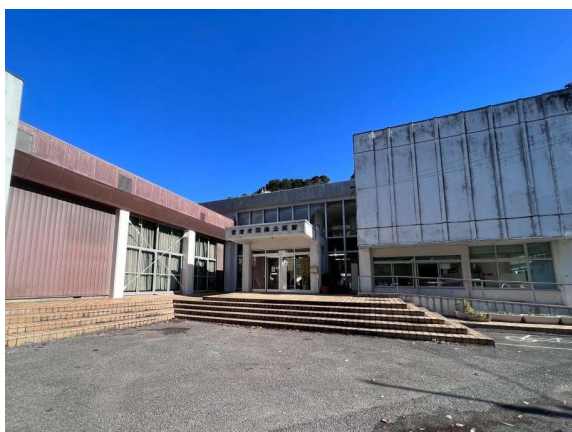


図3-2 人口構成推移(周南地区)

(2)施設概要

立地	所在地	君津市大山野26番地		
	用地所有者	君津市及び私有地		
	敷地面積	12,484.06㎡		
	都市計画	市街化調整区域		
	前面道路	北側：市道皿引・宮下線(その他市道) 南側：市道周南公民館線(その他市道)		
	交通アクセス	コミュニティバス小糸川循環線中島系統 「周南公民館入口」下車徒歩2分		
建物	延床面積	986.88㎡		
	建築年・築後年数	1973年(築後50年)		
	構造	鉄筋コンクリート(RC)造		
	階数	地上2階建て		
	バリアフリー等	出入口スロープ	有	
		手すり(階段等)	有	
エレベーター		なし		
車いす対応トイレ		なし		
	障がい者用駐車場	有		



正面入口



側面(駐車場側より)

図3-3 周南公民館 外観

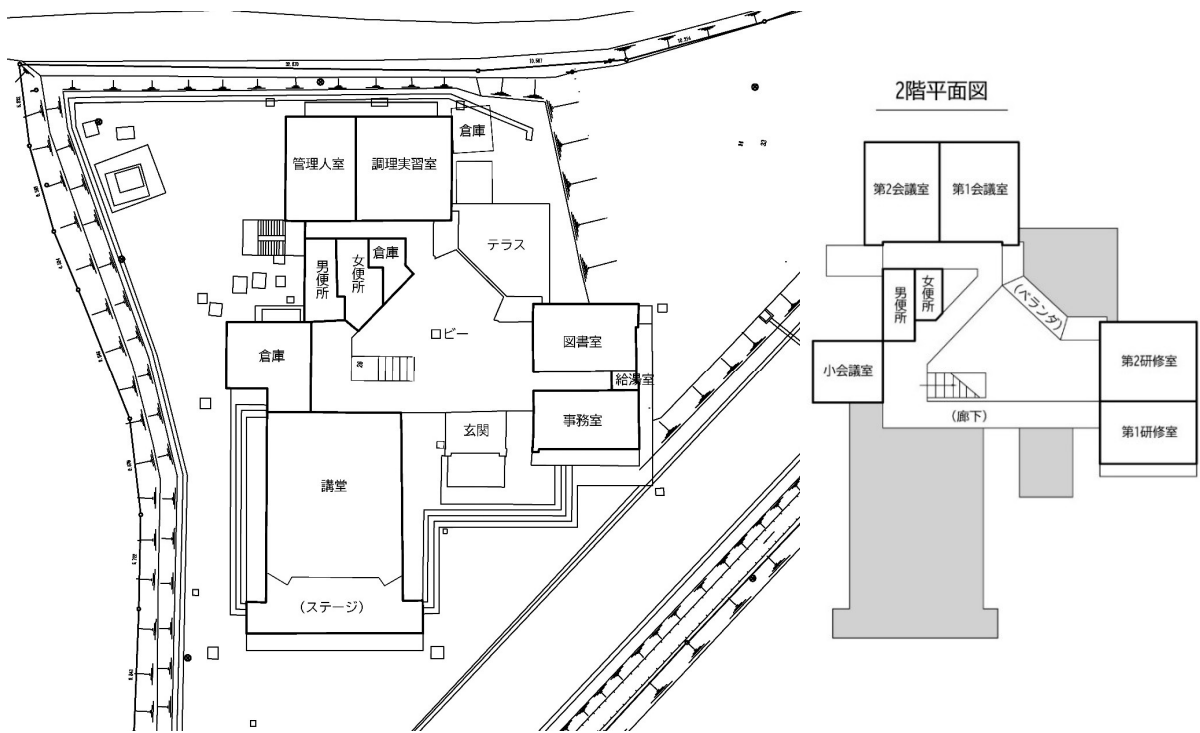


図3-4 周南公民館 平面図



ロビー



講堂



調理実習室



図書室



第1・2 研修室



第1・2 会議室

## 3.2 小糸公民館(小糸地区)

### (1)小糸地区の概況

小糸地区は、市の中央部に位置し、市街地と山間地の中間にあり、館山自動車道君津インターチェンジに近く、豊かな自然と住宅地がバランスよく整う地域です。湧き出す水の恵みでカラー生産や、大豆の「小糸在来<sup>®</sup>」など、誇るべき農産物も豊富です。

婦人会や日赤奉仕団、青少年相談員、青少年健全育成協議会、小糸レインボークラブなど地域団体の活動が活発です。小糸公民館では、これら地域活動へ様々な支援を行っています。

付帯施設の「プレイルーム」では、利用者目線での空間づくりと各種事業の展開や、隣接する児童養護施設との活動など、地域ぐるみの子育て支援としての機能も特徴的です。

また、現在の小糸公民館の周囲には商店や直売所、生きがい支援センターなどがあり、地域の中心的な要素が濃い地です。

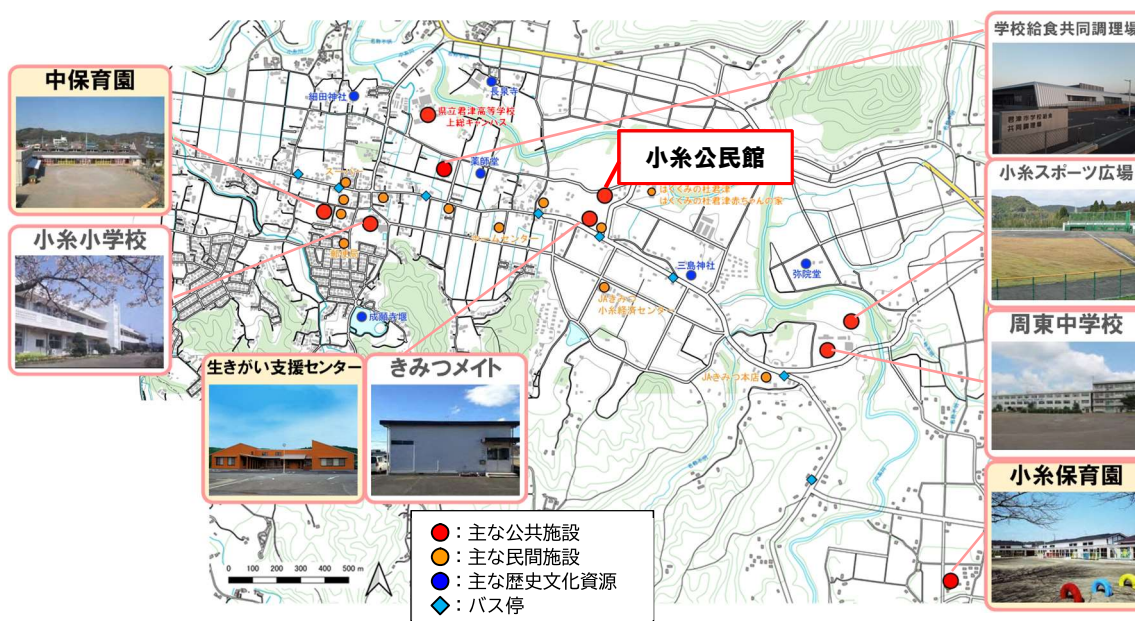


図3-5 小糸地区の現況

表3-2 小糸地区の公共施設

名称	所在地	敷地面積(㎡)	床面積(㎡)	その他
小糸小学校	君津市中島678番地	18,469.00	4,607.00	
周東中学校	君津市塚原120番地	24,491.00	5,406.00	
中保育園	君津市中島252番地の1	3,797.79	1,100.19	
小糸保育園	君津市大井戸467番地の2	4,590.30	740.25	
生きがい支援センター	君津市糠田103番地の1	2,954.49	360.36	
小糸スポーツ広場	君津市塚原51番	25,646.00	561.48	
きみつメイト	君津市糠田103番地1	3,831.00	155.86	

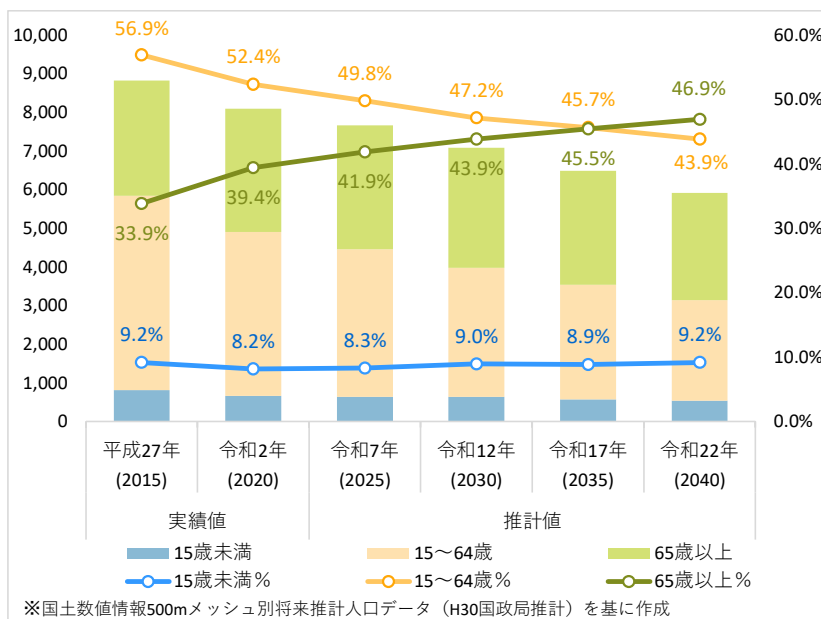


図3-6 人口構成推移(小糸地区)

## (2)施設概要

立地	所在地	君津市糠田55番地		
	用地所有者	君津市		
	敷地面積	9,835.0 m <sup>2</sup>		
	都市計画	都市計画区域外		
	前面道路	北側：市道糠田・中島大下線(その他市道) 南側：市道根本・糠田線(その他市道)		
	交通アクセス	君津駅から日東交通「中島」下車徒歩約15分 または「中島」からコミュニティバス中島・豊英線「小糸行政センター」下車徒歩約3分		
建物	延床面積	1,500.83 m <sup>2</sup>		
	建築年・築後年数	1971年(築後52年)		
	構造	鉄筋コンクリート(RC)造		
	階数	地上2階建て		
	バリアフリー等	出入口スロープ	有	
		手すり(階段等)	有	
エレベーター		なし		
車いす対応トイレ		有		
障がい者用駐車場		有		



正面入口



市民センター側より



壁画



プレイルーム

図3-7 小糸公民館 外観

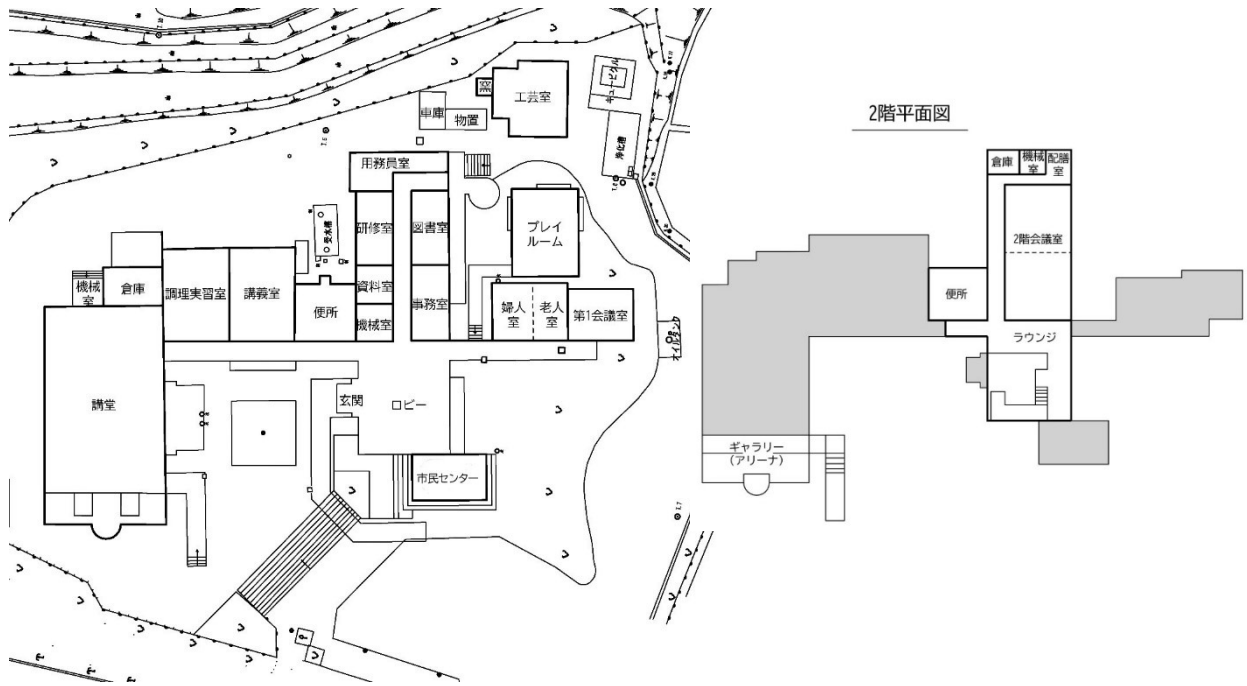


図3-8 小糸公民館 平面図



講義室



講堂



調理実習室



図書室



第1会議室



研修室



婦人室・老人室



プレイルーム



第2会議室(和室)

### 3.3 小櫃公民館(小櫃地区)

#### (1)小櫃地区の概況

小櫃地区は豊かな農地が広がり、首都圏中央連絡自動車道の木更津東インターチェンジや国道410号バイパスの整備が進められ、交通利便性が高まりつつあります。いちごやたまごなど農産物生産も盛んで、地域の魅力と交通の要所としての利点を生かし、人やモノの新たな交流を生み出す可能性に恵まれた地です。

子どもたちを地域ぐるみで育む活動や伝統文化活動も盛んです。

小櫃公民館では、地域の青少年健全育成活動と一体となった取組、地元の農業や自然に光をあてる取組などを展開してきました。

近年では自治会と協働した防災活動や、学校再編が進む中での地域と学校のさらなる連携の強化など、新たな取組を始めています。

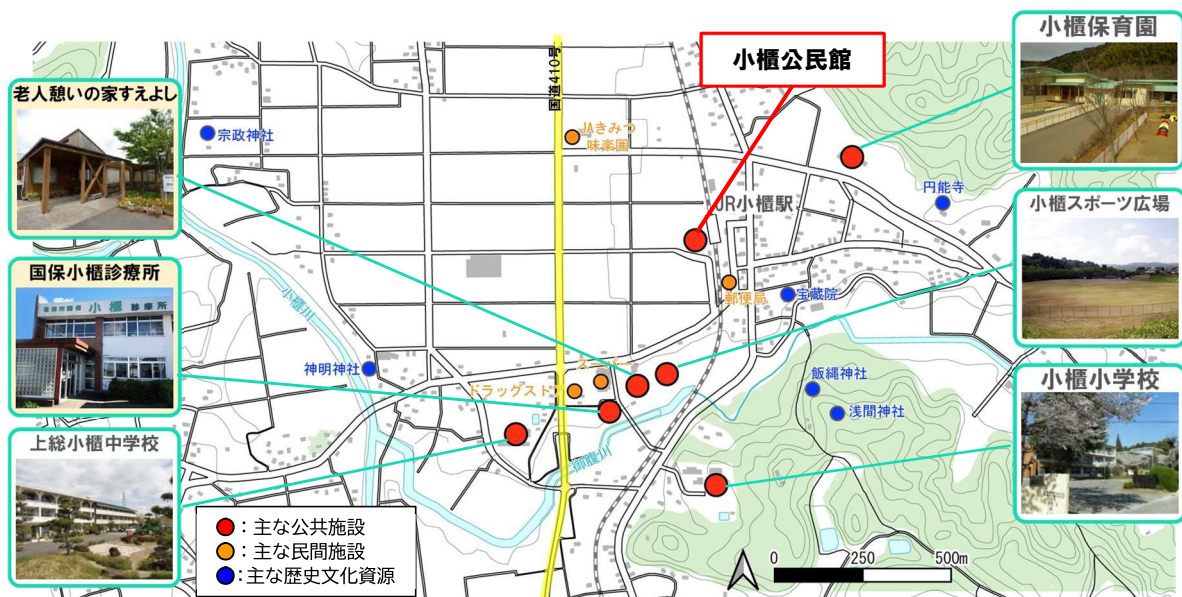


図3-9 小櫃地区の現況

表3-3 小櫃地区の公共施設

名称	所在地	敷地面積(m <sup>2</sup> )	床面積(m <sup>2</sup> )	その他
小櫃小学校	君津市俵田1416番地	24,590.00	5,052.00	
上総小櫃中学校	君津市俵田1110番地	29,458.00	3,965.00	
小櫃保育園	君津市末吉437番地の1	11,030.61	1,189.55	
国保小櫃診療所	君津市末吉1046番地	3,455.00	1,305.42	
老人憩いの家すえよし	君津市末吉1068番地の3	455.14	425.62	
小櫃スポーツ広場	君津市末吉1005番地1	19,229.00	82.82	

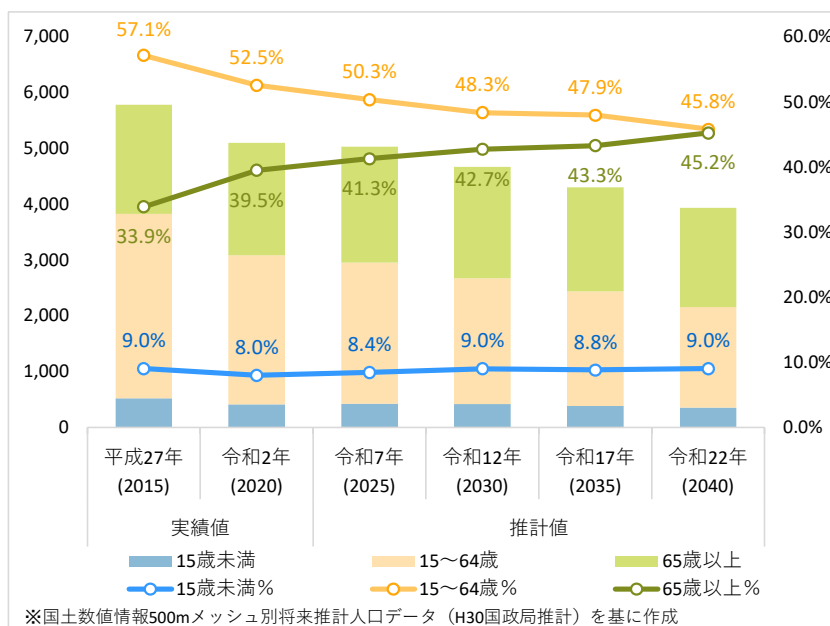


図3-10 人口構成推移(小櫃地区)

## (2)施設概要

立地	所在地	君津市末吉128番地	
	用地所有者	君津市	
	敷地面積	6,613㎡	
	都市計画	都市計画区域外	
	前面道路	南側：市道末吉・賀恵淵線(二級市道)	
	交通アクセス	JR 小櫃駅下車徒歩約9分	
建物	延床面積	1,382.46㎡	
	建築年・築後年数	1974年(築後49年)	
	構造	鉄筋コンクリート(RC)造	
	階数	地上2階建て	
	バリアフリー等	出入口スロープ	有
		手すり(階段等)	有
		エレベーター	なし
車いす対応トイレ		有	
障がい者用駐車場		有	





正面入口



市民センター側より



中庭より



第1会議室・図書室

図3-11 小櫃公民館 外観

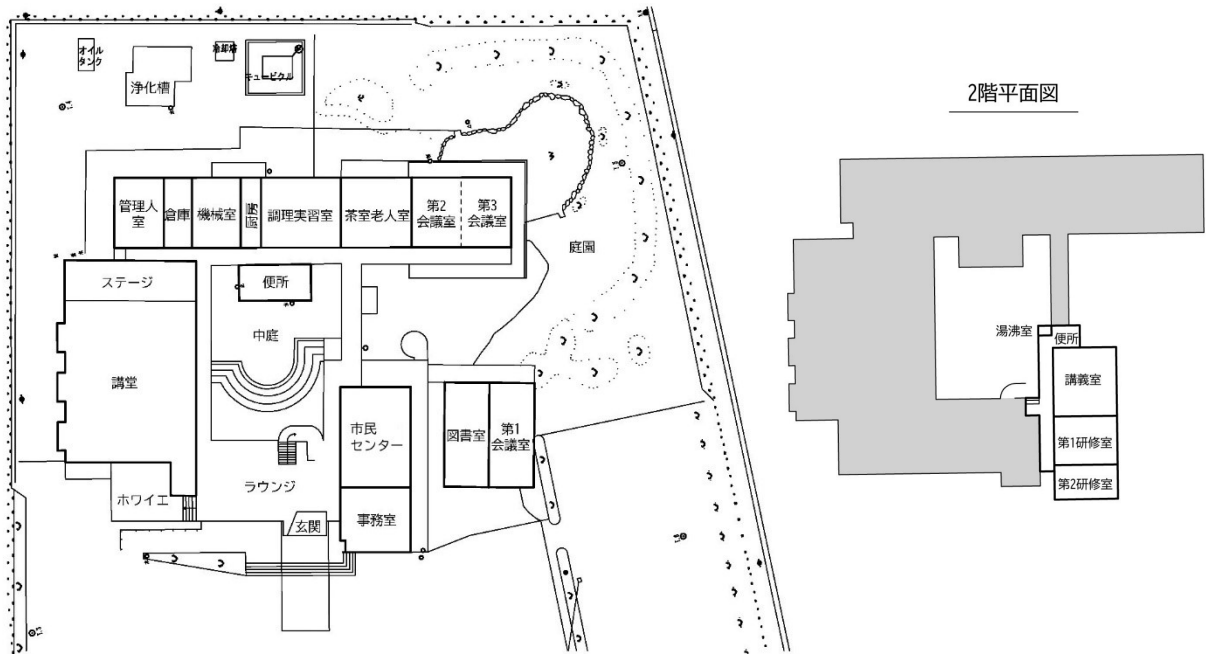


図3-12 小櫃公民館 平面図



講堂



ロビー



第1会議室



図書室



調理実習室



第1・2研修室



講義室

## 4 地域の想い・ニーズ等

各地区における公民館の利用実態や、地域や公民館に対する想い、新しい公民館等に期待すること等を把握するために、アンケート調査とワークショップを実施しました。

### 4.1 アンケート調査

#### (1) アンケート調査概要

各地区に居住する市民を対象にアンケート調査を実施しました。

表4-1 調査の概要

対象	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各地区の15歳以上の居住者1,000人(無作為抽出)</li> <li>・各公民館利用者(公民館にポスター・チラシを掲示し周知)</li> </ul>	
方法	郵送またはインターネットによる回答	
実施期間	令和5年4月7日～4月26日	
主な質問項目	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公民館等の利用実態(公民館、図書室等の利用頻度)</li> <li>・新たな公民館等への期待、できるとよいこと</li> <li>・関連する公共施設の再整備方針(複合化、立地等)</li> </ul>	
回答数・ 回答率※ <small>※母数は郵送配布数 1,000人</small>	周南地区	回答数 247票(郵送:158票、WEB:89票) 回答率 24.7%
	小糸地区	回答数 254票(郵送:175票、WEB:79票) 回答率 25.4%
	小櫃地区	回答数 335票(郵送:272票、WEB:63票) 回答率 33.5%

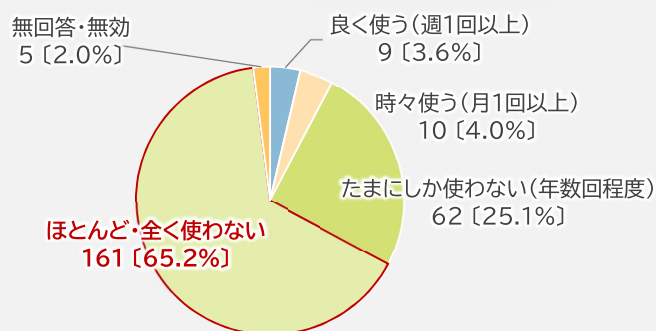
## (2)アンケート結果(主なものを抜粋)

## ① 公民館の利用頻度【択一】

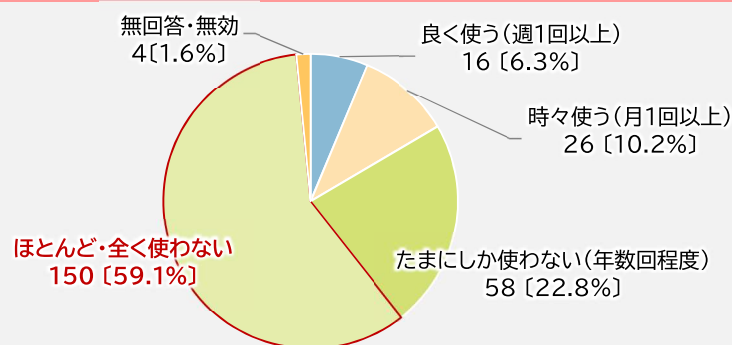
Q あなたは、現在、公民館をどのくらい利用していますか。

- ・3地区とも「ほとんど・全く使わない」の回答が最も多く、約半数が回答した
- ・上記に「たまにしか使わない」の割合を合わせると、3地区とも8割近くが公民館をあまり利用していない結果となった
- ・使わない理由(更問)としては3地区とも「利用する必要がない」が最も多かった

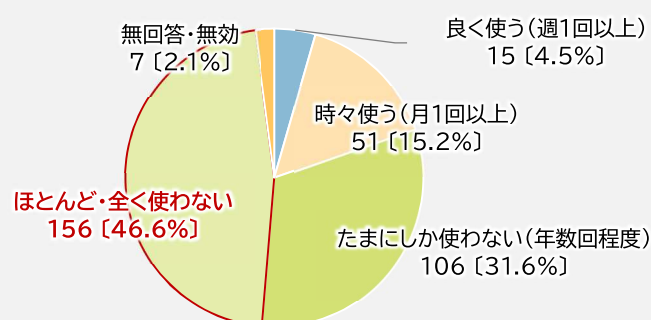
## 周南地区



## 小系地区



## 小櫃地区

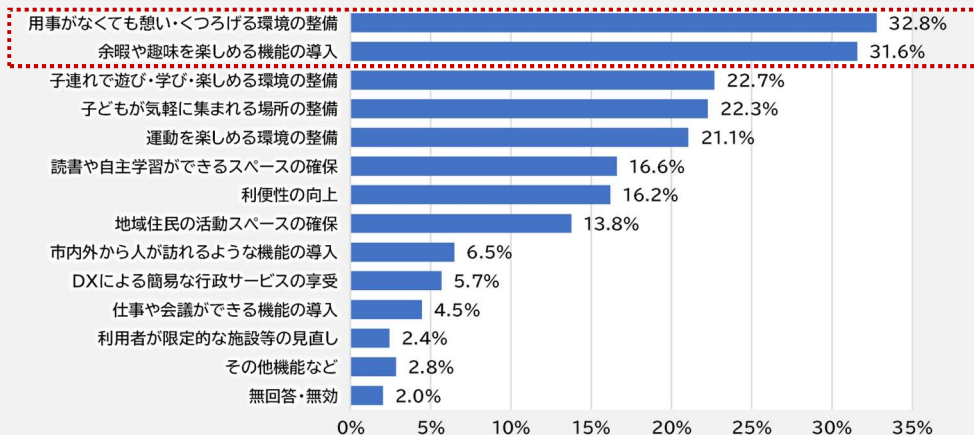


## ② 新たな公民館等に期待すること【複数回答可】

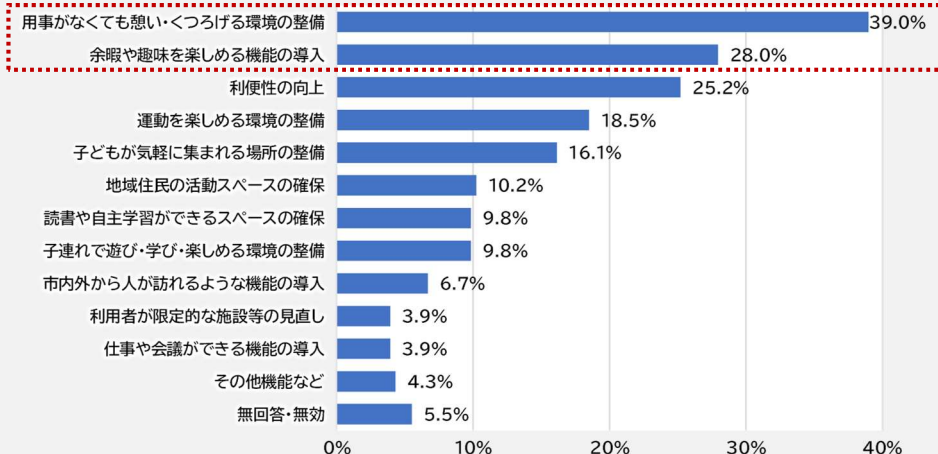
## Q 新たな公民館等に期待することは何ですか。

- ・3地区とも「用事がなくても憩い・くつろげる環境の整備」が最も多く、3割～4割が回答した
- ・次いで多かったのが「余暇や趣味を楽しめる機能の導入」や「利便性の向上」で約3割が回答した

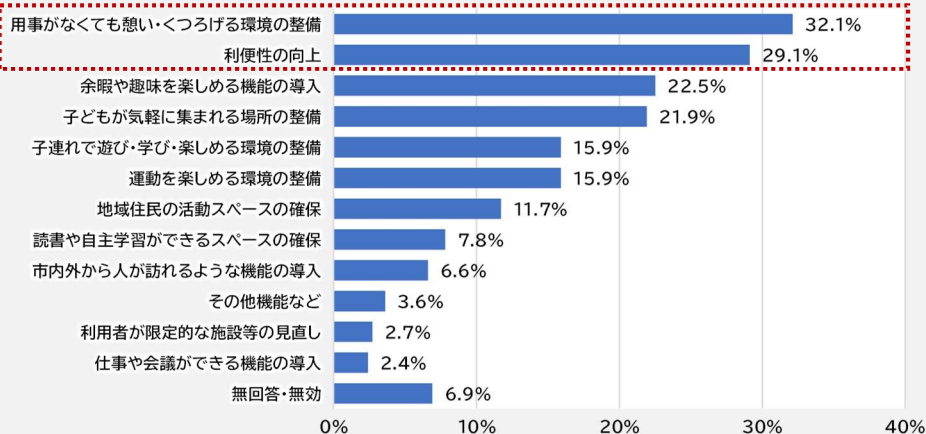
## 周南地区



## 小糸地区



## 小櫃地区

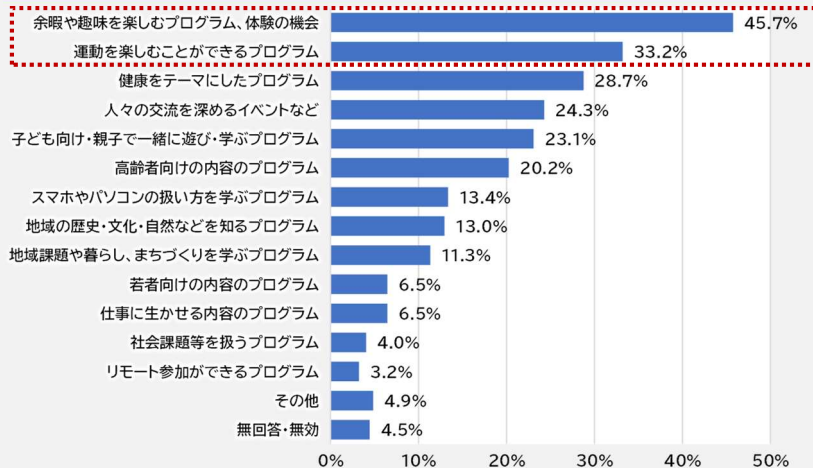


## ③ 利用意欲につながる取組【複数回答可】

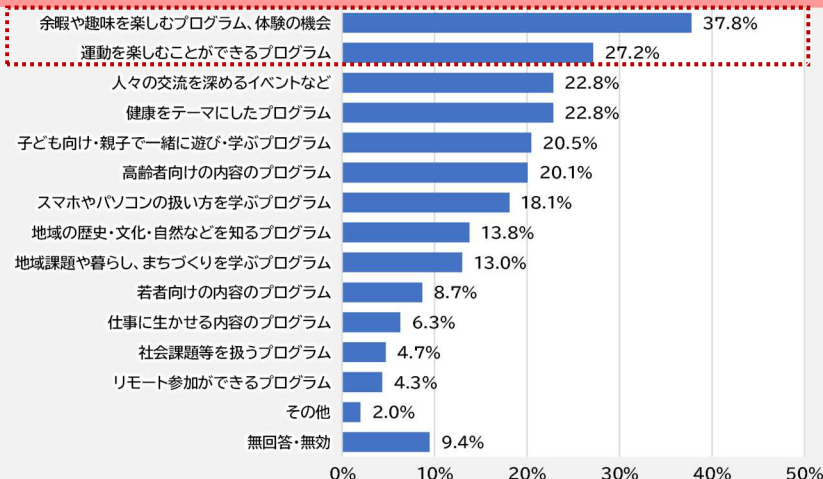
Q 新たな公民館でどのような取組み（プログラム等）に力を入れたら、あなたは公民館をもっと利用したいと思いますか。

- ・ 3 地区とも「**余暇や趣味を楽しむプログラム、体験の機会**」が最も多く、約 4 割が回答した
- ・ 次ので多かった項目も 3 地区共通で「**運動を楽しむことができるプログラム**」で約 3 割が回答した

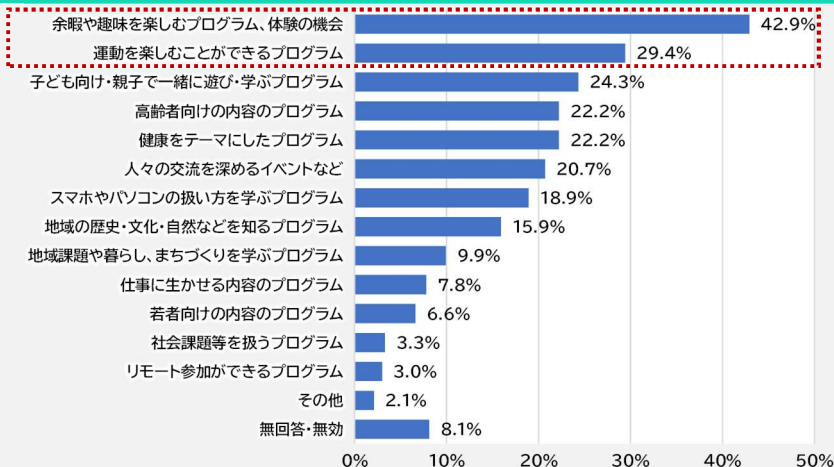
## 周南地区



## 小糸地区



## 小櫃地区



④ 新たな公民館等に求めるイメージやアイデアなど【自由記入】

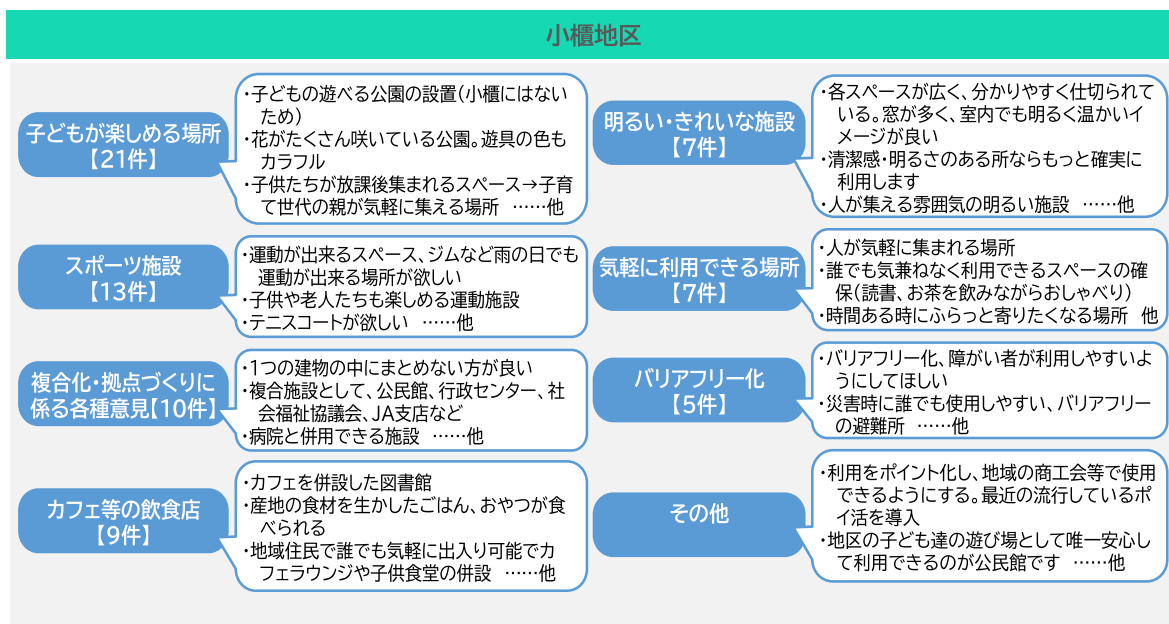
**周南地区**

<p><b>子どもが楽しめる場所【13件】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>お年寄りが利用するイメージがついてしまっているため、新たに越してきたファミリー向けのイベントや利用施設を作ってもらいたいです。 ……他</li> </ul>	<p><b>災害対策・防災拠点【6件】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>防災の拠点になってほしいです</li> <li>災害に強く地域のためになる公民館</li> <li>災害時の避難場所としての機能の充実 ……他</li> </ul>
<p><b>明るい・きれいな施設【9件】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>もう少し雰囲気の良い憩いの場</li> <li>地域の中心にあって明るく開放的なもの</li> <li>トイレももう少しキレイで明るいといいなと思う ……他</li> </ul>	<p><b>カフェ等の飲食店【5件】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>喫茶室や美味しいランチやスイーツのお店に入ってもらおう</li> <li>周南地区には、カフェが無いので、可能ならば施設内にカフェが併設されるともっと人が集まりやすくなる ……他</li> </ul>
<p><b>スポーツ施設【8件】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>運動ができる場</li> <li>テニスコート【3件】</li> <li>屋内スポーツ施設【4件】 ……他</li> </ul>	<p><b>多世代・地域交流機能【4件】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>公民館に行くことによって地域の人との交流が出来るようになることによって、より周南のことが好きになる人が増えるのではと思います ……他</li> </ul>
<p><b>気軽に利用できる場所【7件】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>何もなくても誰もが気軽に立ち寄れるところ</li> <li>気軽に訪れて地域住民とコミュニケーションが取れる場所</li> <li>気軽に行けるカフェや食堂があればいいと思う ……他</li> </ul>	<p><b>その他</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>大空間と個のスペースの両立</li> <li>小学生、中学生など地区の将来を担う世代が多く利用できるような施設であってほしい ……他</li> </ul>

**小糸地区**

<p><b>カフェ等の飲食店【15件】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>おしゃれなカフェ</li> <li>喫茶コーナーがあったり、子ども食堂的な機能を満たしたりできる</li> <li>レストラン等を作り、1日過ごせる施設 ……他</li> </ul>	<p><b>明るい・きれいな施設【6件】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>明るく開放的な雰囲気にしてほしいです</li> <li>明るい、子供も行きたいと思う施設</li> <li>陽射しが入り明るい館内の目前に広がる外遊びできる広場 ……他</li> </ul>
<p><b>多世代が利用できる場所【11件】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>サークルを年齢不問で作り、大人と子供で交流して地域の活性化と子供の可能性を拡げる</li> <li>子供ばかりではなく、大人が楽しめる場所</li> <li>年齢問わず市民憩いの場 ……他</li> </ul>	<p><b>気軽に利用できる場所【6件】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>目的なく立ち寄ったり、別の目的で来たときに、新たなことや人と出会う場</li> <li>どの世代でも入りやすいオープンな雰囲気にしてほしい。活気があるとよい ……他</li> </ul>
<p><b>災害対策・防災拠点【9件】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>少子高齢化を考慮しあまり予算をかけずコンパクトな施設でも良いと思うが、災害時のための対策は必要</li> <li>停電・断水・道路寸断等を想定した準備をしてほしい</li> <li>地域の特性を活かした体験型施設(防災、農業等) 他</li> </ul>	<p><b>子どもが楽しめる場所【5件】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>雨の日に子どもが1日遊んで過ごせる施設</li> <li>地域の子どもたちが思い入れのある場所にすれば、大きくなって遊びに来てくれる</li> <li>子ども達が安心して遊べたり集まれる場所 ……他</li> </ul>
<p><b>スポーツ施設【6件】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>スポーツジム、開かれたクラブ等の活動</li> <li>武道場、柔道場</li> <li>君津市は大きいプールがなく、子供から大人まで安価で利用できる施設があると嬉しい ……他</li> </ul>	<p><b>その他</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>自然豊かな環境が活かされた施設になればいいなと思います</li> <li>放課後預ける場所が足りていないので、学童保育してほしいです ……他</li> </ul>

※主な意見を抜粋



※主な意見を抜粋



## 4.2 ワークショップ

### (1) ワークショップ実施概要

再整備後の公民館・拠点施設の将来イメージや使い方等について各地区の住民のみなさんと一緒に考え、自由な意見を聴取するために、地区ごとに全2回のワークショップを開催しました。

第1回は、各地区や公民館の現状を確認しつつ、公民館等の将来イメージについてアイデアを出し合いました。1回目で挙がったご意見を踏まえて検討した再整備のコンセプトや導入機能等を第2回で確認しました。

ワークショップでは、班ごとに分かれて意見を出し合い、最後に各班で結果を発表してワークショップの成果を確認しました。

表4-2 実施概要

対象	各地区の居住者		
実施回数・期間	各地区全2回		
開催場所	各地区の公民館の講堂		
各回のテーマ	第1回 公民館等の将来イメージ ～こんな公民館等になったらいい～	第2回 基本計画素案の確認 ～施設の具体的な整備方針案を確認・ 検討しよう！～	
参加者数	周南地区	第1回(6/19 月曜) 14名	第2回(11/16 木曜) 13名
	小糸地区	第1回(6/21 水曜) 18名	第2回(11/15 水曜) 14名
	小櫃地区	第1回(6/20 火曜) 16名	第2回(11/20 月曜) 20名

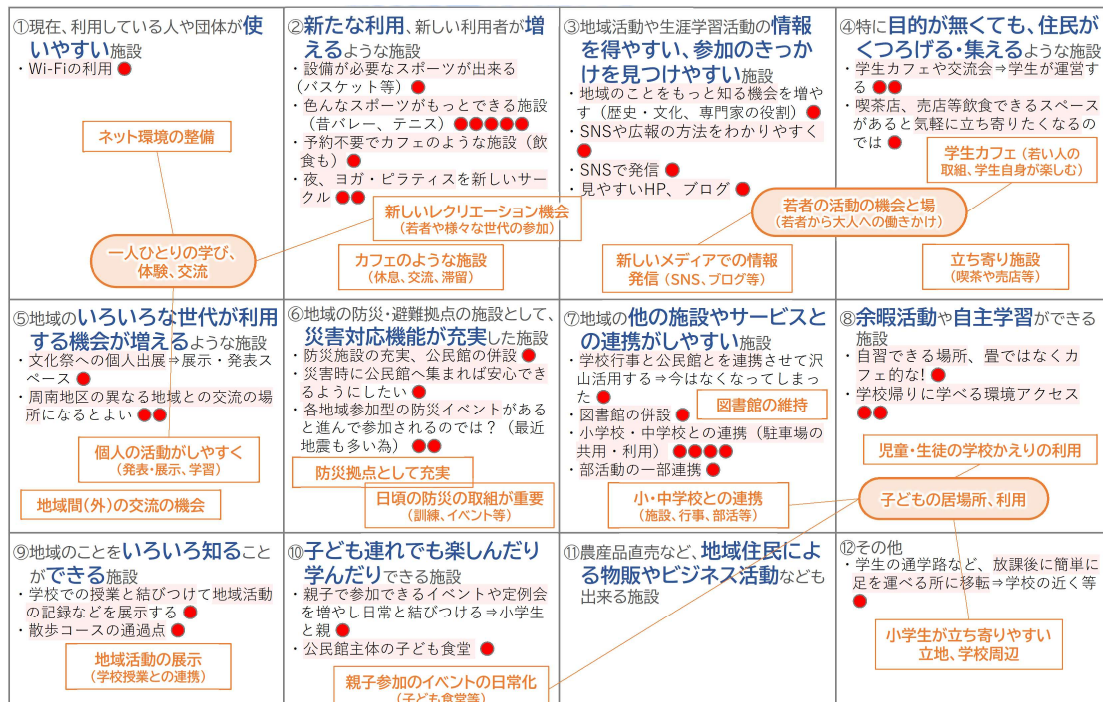


図4-1 ワークショップの様子

(2)ワークショップ実施結果

① 周南地区

【第1回結果：公民館の将来イメージ】



【第2回結果：整備方針等の確認】

地域を知り・学び・つながる公民館  
～周南の人・自然・歴史文化を地域の手で守り育てる場所～

特に大事なと思う点、キーワードに対する思いなど

- 常に開かれている場所 ⇒いつも誰かが居るような場所
- 学び合う、いろいろな住民をつなぐ
- 地域を知る
- 子どもたちが気軽に立ち寄れる
- 人が集まりたくなる娯楽性
- 地域のハブ機能

実現のために必要なこと

- 活動をリクエストできる仕組み (コロナ禍で活動が減少し、活動範囲が狭くなったため)
- まずは子どもたちに知ってもらい、継続してきてもらう (学校行事に公民館を組み込む等)
- シンプルな予約システム

施設の整備の考え方に対する意見、施設を使った活動イメージ

- 講堂** スポーツ (クラブ活動) ができる天井高ノバドミントン・卓球・バスケットができる
- 会議室** [全般]作品展示、可動式壁、Wi-Fi/[兼調理実習室]子ども食堂;子どもと大人の交流
- 図書室** 明るいオープンスペースで本を読みたいノ多世代が立ち寄りやすい雰囲気
- ロビー** オープンで自由な雰囲気ノリモートワークコーナーノ自動販売機コーナー
- 駐車場** 軽トラ農産市の活用ノ小中学校のイベントでの活用
- 防災倉庫等** 屋外調理ができる施設 (かまど等)ノ防災グッズ

地域の賑わい形成に関する意見

- 周南地区の中心部、小中学校の近くなど、わかりやすく行きやすい場所に立地
- 高齢者対応;足の確保、地域でのネットワーク (コミュニティバス等)
- スポーツ、レクリエーション、イベント



③ 小櫃地区

【第1回結果：公民館等の将来イメージ】



【第2回結果：整備方針等の確認】

(再整備コンセプト案)

豊かなコミュニティのもと 安心して住み続けられるまちを創る拠点

特に大事だと思う点、キーワードに対する思いなど

- コミュニティの活性化
- 公民館の活動で人を・地域をつなぐ
- 子どもの居場所（学童とは別の安心できる場所）
- 地域としての利便性を高める

実現のために必要なこと

- ・情報発信
- ・地域住民を引き込み、浸透させる
- ・公民館活動を支える仕組み
- ・くつろぎ機能の確保

施設の整備の考え方に対する意見、施設を使った活動イメージ

- 講堂** クライミングウォール／広いスポーツ空間／バスケットゴール
- 会議室** 部屋の分割を可能とする／集まって遊べる（ボードゲーム等）／シニアルーム
- 図書室** 明るい雰囲気／新しい本の循環・電子書籍の充実／勉強できるスペース
- ロビー** 誰でも立ち寄り、集いやすい雰囲気／地域の情報が一目でわかる
- トイレ** おむつ替えの台
- 駐車場** 現状よりも拡張（少なくとも100台）
- 防災倉庫等** ヘリポートの設置

地域の拠点づくり、賑わい形成に関する意見

- 用地拡大、多目的広場
- 地区社会福祉協議会の複合化

## 5 再整備基本方針

### 5.1 基本理念・基本方針

地域の更なる活性化につながる交流機能やにぎわいの創出を図り、持続可能な地域づくりにつながる施設となるよう再整備を進めるべく、以下のコンセプトを設定しました。

#### 【基本理念】“人と地域をつなぐステーション”としての公民館・拠点施設

##### (1) 公共施設としての基本性能を充足した施設整備

誰もが安心・安全・快適に利用でき、安定的な行政サービスを提供し続けられる施設となるよう、バリアフリー等の公共施設としての基本性能の充足や、DX等の技術を活用した行政サービスの質の向上を図ります。また、将来的な施設管理コスト削減のため、既存施設の複合化や現存する公共用地を活用した整備に努めます。

##### (2) 柔軟な利活用が可能な施設整備

シンプルで実用性の高い施設を基本としつつ、多世代の多様なニーズに対応できる機能を効率的に再整備します。

施設内レイアウトの検討に当たっては、フレキシブルな利用が可能な機能を固定しないエリアの配置や運用方法についても検討します。

##### (3) 防災拠点機能の強化

地区の避難場所として、耐震性の確保された建物に再整備します。

また、インフラ途絶時でも機能する防災拠点とするために、発電機・蓄電器の導入や、避難場所として十分なスペースの確保等を検討します。

##### (4) 公民館等再整備を契機とした地区の拠点形成(小糸地区・小櫃地区)

生涯学習施設として多世代に利用される公民館を軸に、地区の公共施設の再編(複合化・集約化)を図り、多様な目的で訪れる人々が出会うことにより新たな活動や交流が生まれる、地域の“人”と共に成長する拠点づくりを進めます。

## 5.2 施設の再整備の考え方

### ① シンプルで、実用性の高い施設

- ・ 他用途への転用が可能なSI(スケルトンインフィル)の考え方のもと、シンプルな施設構成としつつ多様な社会教育、文化、スポーツ・レクリエーション活動を受け容れる造りとします。
- ・ 日常メンテナンスや施設内レイアウトの変更の容易性など実用性を重視することとします。



図5-1 幅広い用途での利用が可能な部屋のイメージ(参考:下呂交流会館 マルチスタジオ)

#### SI(スケルトンインフィル)とは

建物のスケルトン(柱・梁・床等の構造躯体)とインフィル(内装・設備等)とを分離した工法。スケルトンは長期間の耐久性を重視し、インフィル部分は多様なニーズに応じて自由に変えられる可変性を重視して造られるもの。

### ② 誰もが利用しやすい施設

- ・ バリアフリーやユニバーサルデザインなどを考慮した施設の造りとし、誰もが使いやすい施設とします。
- ・ ホール等のようなフリースペース的空間を設け、誰もが気軽に立ち寄れて、用事がなくとも憩い・くつろげる環境を整備し、にぎわいや交流を生む拠点施設とします。



図5-2 誰もが立ち寄りやすい空間のイメージ(参考:金田地域交流センター)

### ③ 地球環境に優しい施設

- ・ 君津市の「環境グリーン都市」実現に向け、「第5次君津市地球温暖化対策実行計画」の施策に従って、主に以下の事項に取り組みながら再整備を行うものとします。
- ・ ライフサイクルコストの低減につなげるべく、再整備後の運営維持管理を考慮したエネルギー利用等の最適化を図るものとします。

施策	取組 ★：重要取組
(1)省エネルギーの推進	省エネルギー機器等の導入推進★ 例:LED 照明の導入など
	省エネルギー建築の推進
(2)再生可能エネルギー利用の推進	市有施設・遊休地における再生可能エネルギー設備等の導入推進★ 例:太陽光発電設備の設置など
	低炭素電力の利用推進
(5)吸収源対策の推進	森林資源の活用
(7)デジタル技術の活用による脱炭素化の推進	DX の推進

※第5次君津市地球温暖化対策実行計画から抜粋

### 5.3 施設の外觀・景観の考え方

再整備後の施設の外觀・景観について、君津市景観計画に沿って建築物の位置・配置、形態・意匠、色彩や、外構・緑化計画を検討するものとします。

#### (1)周南地区:周南公民館

景観形成の基本方針 \*君津市景観計画「君津ゾーンの方針」より該当部分抜粋

- ・落ち着きを感じられる良好な住宅地景観をつくります。
- ・広がりのある眺望を守ります。
- ・市街地に近接する豊かな自然景観を守ります。
- ・自然と調和したゆとりがある住宅地景観をつくります。

#### 周南公民館周辺の景観特性

- 低層住宅が多い地域
- 周囲を樹林・丘陵地に囲まれ、緑の豊かな遠景を有する



#### 整備における考え方・留意事項

- 周辺の住宅地景観や既存公共施設に馴染む色彩や高さとします。
- 背景となる自然景観を遮らない・損ねない外観とします。

#### (2)小糸地区:拠点施設

景観形成の基本方針 \*君津市景観計画「小糸・清和ゾーンの方針」より該当部分抜粋

- ・広がりのある眺望を守ります。
- ・原風景としての田園風景を守ります。
- ・自然と調和したゆとりがある住宅地景観をつくります。

#### 小糸公民館周辺の景観特性

- 周囲を農地に囲まれた、開けた景観
- 背後にまとまった山並みを擁する、スケールを感じる景観



#### 整備における考え方・留意事項

- 開けた景観を尊重し、周辺の農的景観を損ねない外観とします。
- 隣接する公共施設と色彩や意匠を統一し、一帯としての景観を形成します。

## (3)小櫃地区:拠点施設

景観形成の基本方針 \*君津市景観計画「小櫃・上総ゾーン」より該当部分抜粋

- ・広がりのある眺望を守ります。
- ・原風景としての田園風景を守ります。
- ・自然と調和したゆとりがある住宅地景観をつくります。
- ・歴史文化が薫る景観をつくります。

## 小櫃公民館周辺の景観特性

- 周囲に農地が広がる田園風景が特徴
- 背後にまとまった山並みを擁する、スケールを感じる景観

## 整備における考え方・留意事項

- 開けた景観を尊重し、周辺の農的景観を損ねない外観とします。
- 鉄道（久留里線）からの眺望景観に留意し、ランドマーク的景観を形成しつつ、周囲の景観に調和した意匠を検討します。



表5-1 【参考】君津市景観計画 色彩基準

## ●市街化区域（かずさアカデミアパーク地区は除く）

色 相	建築物の外壁、工作物		建築物の屋根	
	明度	彩度	明度	彩度
N(無彩色)	4以上9未満	—	2.5以上7未満	—
R(赤)	3以上9未満	0.5以上3以下	2.5以上7未満	3以下
YR(黄赤)	3以上9未満	0.5以上5以下	2.5以上7未満	5以下
Y(黄)	3以上9未満	0.5以上5以下	2.5以上7未満	5以下
GY(黄緑)、G(緑)、BG(青緑)、B(青)、PB(青紫)、P(紫)、RP(赤紫)	3以上9未満	0.5以上3以下	2.5以上7未満	3以下

## ●市街化調整区域、都市計画区域外

色 相	建築物の外壁、工作物		建築物の屋根	
	明度	彩度	明度	彩度
N(無彩色)	4以上9未満	—	2.5以上7未満	—
R(赤)	3以上9未満	0.5以上2以下	2.5以上7未満	2以下
YR(黄赤)	3以上9未満	0.5以上4以下	2.5以上7未満	4以下
Y(黄)	3以上9未満	0.5以上2以下	2.5以上7未満	2以下
GY(黄緑)、G(緑)、BG(青緑)、B(青)、PB(青紫)、P(紫)、RP(赤紫)	3以上9未満	0.5以上2以下	2.5以上7未満	2以下



## 5.4 民間活力の導入

近年、公共施設の整備、管理にあたっては、民間事業者の経営能力や技術的能力を活かし、市民サービスの向上やコストの縮減を図るPPP、PFIが普及しています。本市においても、令和5年3月に「君津市 PPP/PFI 手法導入優先的検討規程」の制定および「君津市PPP/PFIガイドライン」の改訂を行い、公共施設等の整備等において多様な民間活力に係る手法の導入を優先的に検討することとしています。

以上に基づき、公民館等の再整備においては、民間活力により効率的・効果的な整備を進めるとともに、地域のポテンシャルを活かしたにぎわい・魅力づくりを官民連携で検討していきます。民間活力の導入にあたって、官民の対話により本事業の可能性やアイデアを把握することとして、令和5年8月～9月に民間事業者等を対象としたサウンディング調査を実施しました。調査結果から、公民館等再整備における民間活力の導入方針を以下の通りとします。

### ■民間活力導入の基本方針

- 公民館等再整備事業を包括して発注（バンドリング）するなど、事業者の参入意欲向上や行政コストの縮減等につながる手法を検討します。
- 地域の利便性向上に資する事業を施設内または敷地内に導入することを検討します。

※施設の整備～運営維持管理において民間活力の導入を想定しますが、公民館事業についてはこれまで通り君津市の直営により運営するものとします。

### 官民連携とは

- ・ 公共事業、例えば公共施設の設計・工事・運営維持管理を民間事業者のノウハウを取り入れながら進めることです。
- ・ 官民連携により、従来の公共サービスと民間サービスが融合することで、利用者の利便性やサービスの質の向上につながります。

## 6 各地区の再整備計画

### 6.1 周南地区:周南公民館

#### (1)コンセプト

ワークショップでの意見を踏まえ、周南公民館の再整備コンセプトを以下のとおり決めました。

### 地域を知り・学び・つながる公民館

### 周南の人・自然・歴史文化を地域の手で守り育てる場所

- バリアフリー対応とし子どもから高齢者まで誰もが使いやすい、様々な活動を受け容れる施設のつくり
- 昔から住む人も、新たに住み始める人も一緒になって地域を知り・創る場所
- 中学校敷地内への移転により、災害リスクを軽減し、小学校・中学校との更なる連携及び利用者層の拡大を図る

#### (2)立地の考え方

現状、周南公民館の敷地の一部が土砂災害特別警戒区域にかかることや、敷地の広さを勘案し、周南中学校敷地内への移転を基本とすることで、多世代の人が使いやすくすることや小中学校との連携強化を図ります。

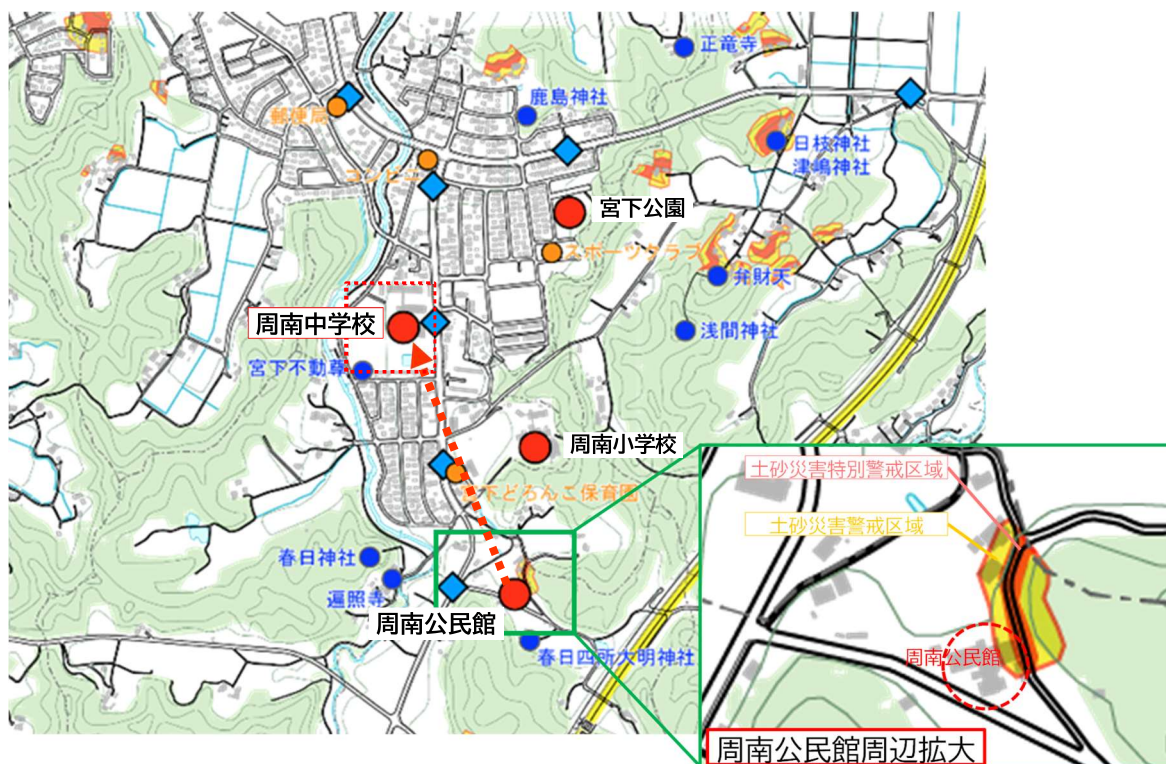


図6-1 立地の考え方

## (3)導入予定機能・規模

表6-1 導入予定機能・規模イメージ

機能分類	主な諸室	規模	整備の考え方
公民館機能	講堂	160㎡程度	<ul style="list-style-type: none"> <li>集会や講演会等の利用として地域住民が集える十分なスペースの確保</li> <li>卓球等の屋内スポーツができる構造</li> <li>発災時の避難場所として安心して過ごしやすい空間</li> </ul>
	会議室1 (研修室)	80㎡程度	<ul style="list-style-type: none"> <li>40人程度の利用を想定</li> <li>会議室のほかダンス等の多用途に使用できるつくりとする</li> </ul>
	会議室2 (兼和室)	70㎡程度	<ul style="list-style-type: none"> <li>30人程度の利用を想定</li> <li>畳表を敷くことで和室としての機能も持たせる</li> <li>2分割し、片側の部屋には茶室の機能を持たせる</li> </ul>
	会議室3 (兼調理実習室)	55㎡程度	<ul style="list-style-type: none"> <li>20人程度の利用を想定</li> <li>調理台に天板を置き会議室としての利用もできるつくりとする</li> <li>災害時の活用も想定したつくりとする</li> </ul>
図書館機能	図書コーナー ※ロビーに併設	—	<ul style="list-style-type: none"> <li>中央図書館分室(図書サービスコーナー)として1,500冊程度の蔵書</li> </ul>
交流機能	ロビー	150㎡程度	<ul style="list-style-type: none"> <li>誰もが立寄り・集いやすい雰囲気</li> </ul>
管理・衛生機能	事務室	30㎡程度	<ul style="list-style-type: none"> <li>公民館利用の受付と図書室の貸出・予約ができるつくり</li> </ul>
	倉庫	40㎡程度	<ul style="list-style-type: none"> <li>備品、書類・資料等の保管用</li> </ul>
	トイレ	50㎡程度	<ul style="list-style-type: none"> <li>おむつ交換台や授乳室等、子育て世代が利用しやすい施設設備の検討</li> </ul>
災害拠点機能	防災倉庫		<ul style="list-style-type: none"> <li>講堂から利用しやすい位置に配置する(屋外に設置)</li> </ul>
その他	駐車場		<ul style="list-style-type: none"> <li>40台程度。移動図書館の駐停車場所や、地区文化祭等のイベント利用も想定。</li> <li>雨天時に送迎利用者や図書(中央図書館より搬入出)が濡れないよう、ポーチに面する位置に配置する</li> </ul>

(4)公民館整備イメージ

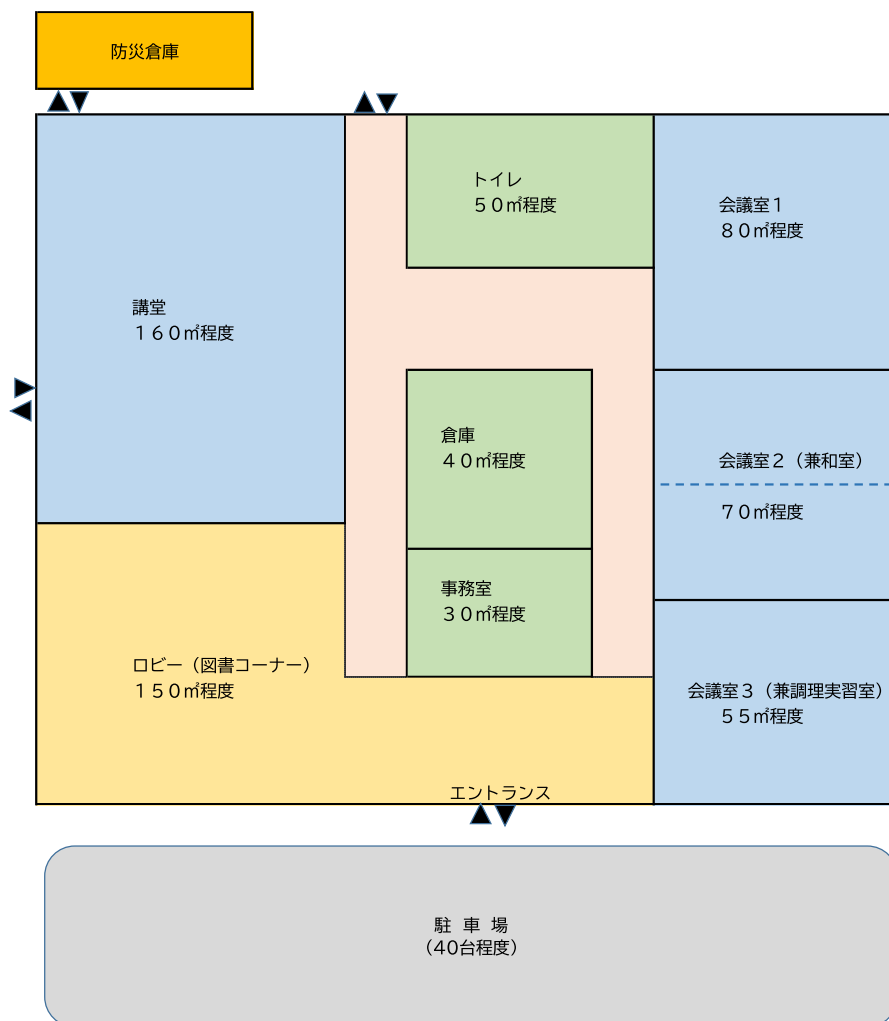


図6-2 レイアウトイメージ図(公民館)

※現段階での整備イメージであり、今後、官民連携等による計画の具体化を進める中でレイアウト変更等が生じる可能性がある。

## 6.2 小糸地区:拠点施設

### (1)コンセプト

ワークショップでの意見を踏まえ、小糸地区拠点施設の再整備コンセプトを以下のとおり定めました。

子どもから高齢者まで多世代が

いきいきと活動し・暮らし続ける 地域創造拠点

- バリアフリー対応とし誰もが気軽に立ち寄れる、日常に根差した場所づくりによる幅広い交流が生まれる拠点の形成
- 公民館～生きがい支援センターの一団の市有地を活かした拠点エリアの一角の形成
- 保育機能の配置により子どもや子育て世代との事業連携による利用者層拡大

### (2)地区内の公共施設の再編整理(集約化等の考え方)

小糸公民館を軸として、地区内の老朽化した施設の再編整備を検討します。

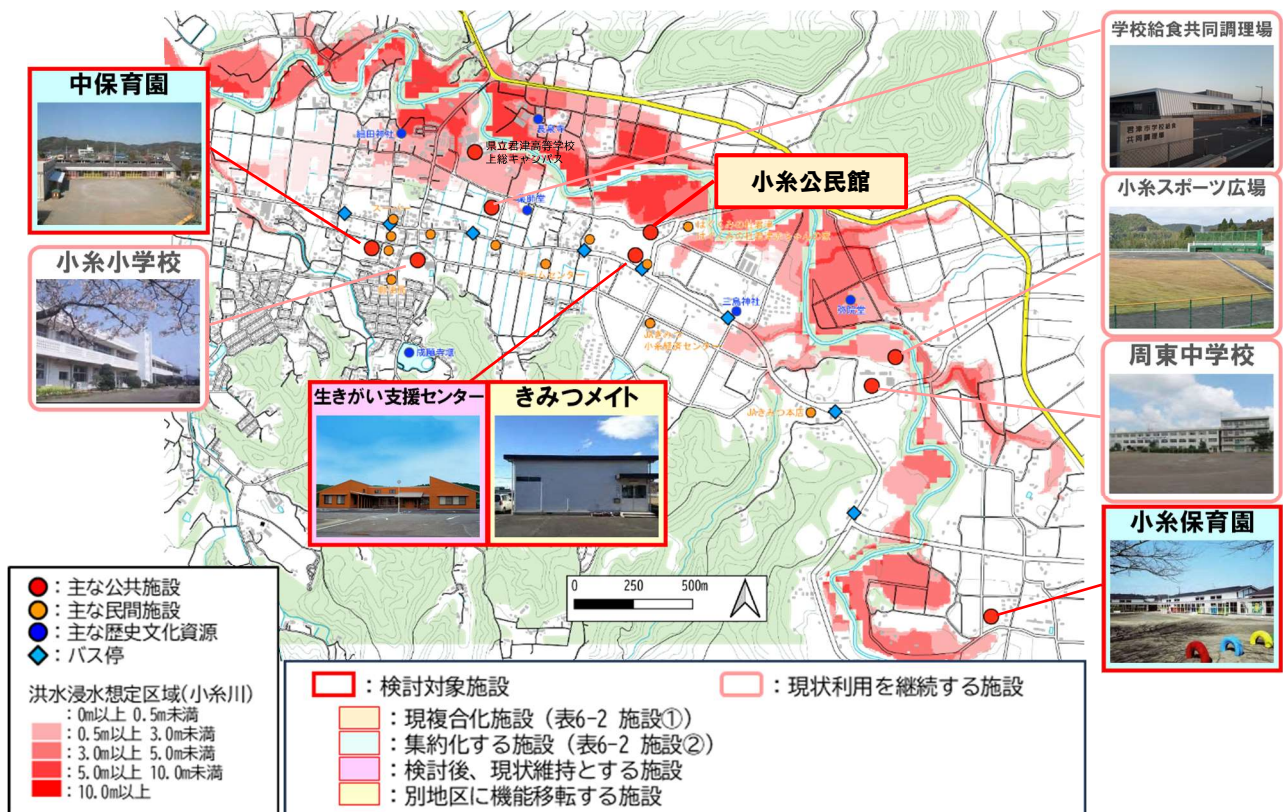


図6-3 再編対象施設

### (3)立地および拠点形成の考え方

現在の小糸公民館の立地を基本とし、隣接する公有地も含めた一帯の敷地を活用した拠点施設の整備を図ります。

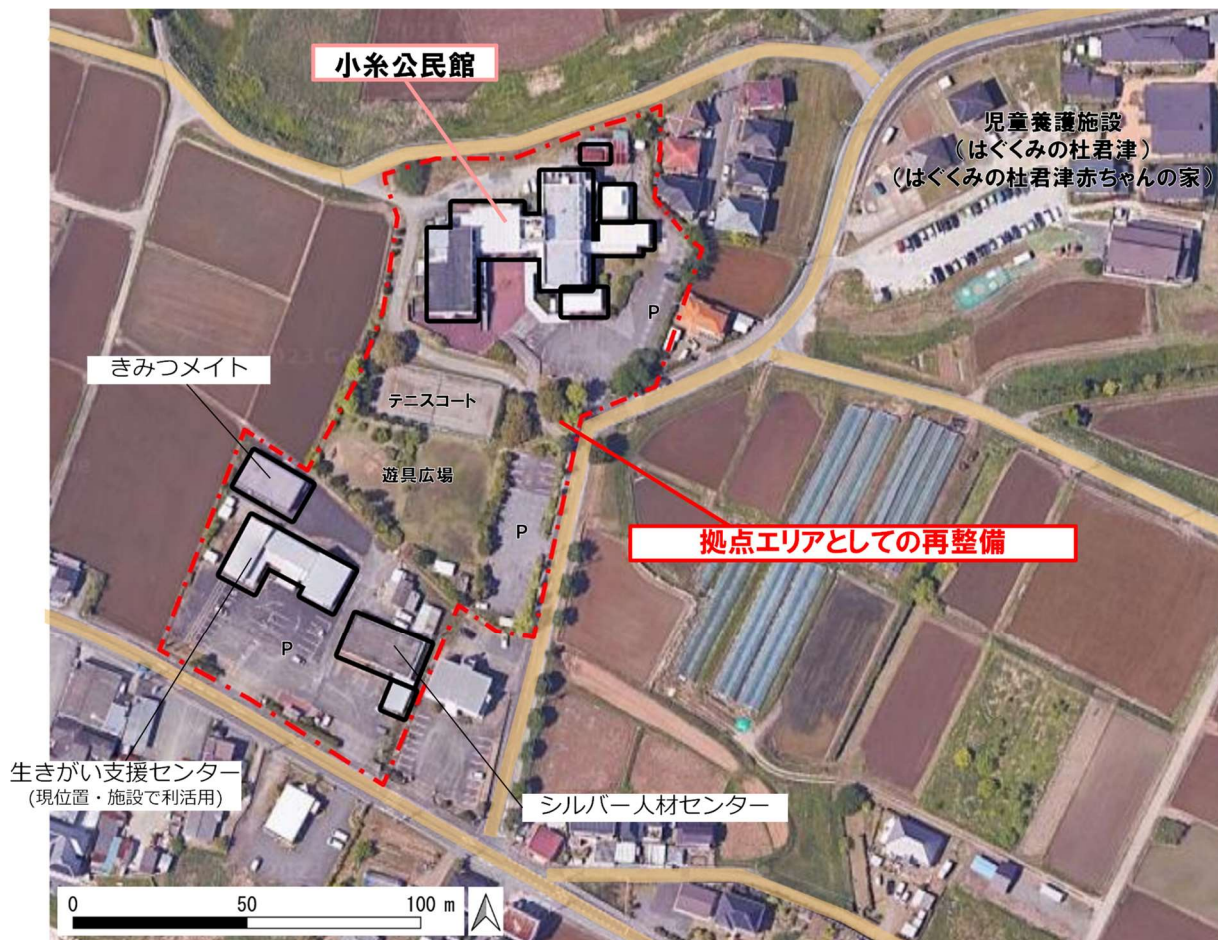


図6-4 立地および拠点形成の考え方

## (4)導入予定機能・規模

表6-2 導入予定機能・規模イメージ

	機能分類	主な諸室	規模	整備の考え方
施設①	公民館機能 (生涯学習機能、集会機能等)	講堂	260 m <sup>2</sup> 程度	<ul style="list-style-type: none"> <li>集会や講演会等の利用として地域住民が集える十分なスペースの確保</li> <li>卓球等の屋内スポーツができる造り</li> <li>発災時の避難場所として安心して過ごしやすい空間</li> </ul>
		会議室 1 (研修室)	80 m <sup>2</sup> 程度	<ul style="list-style-type: none"> <li>40 人程度の利用を想定</li> <li>会議室のほかダンス等の多用途に使用できるつくりとする</li> </ul>
		会議室 2 (兼和室)	70 m <sup>2</sup> 程度	<ul style="list-style-type: none"> <li>30 人程度の利用を想定</li> <li>畳表を敷くことで和室としての機能も持たせる</li> <li>2 分割し、片側の部屋には茶室の機能も持たせる</li> </ul>
		会議室 3 (兼調理実習室)	55 m <sup>2</sup> 程度	<ul style="list-style-type: none"> <li>20 人程度の利用を想定</li> <li>調理台に天板を置き会議室としての利用もできるつくりとする</li> <li>災害時の活用も想定したつくりとする</li> </ul>
		会議室 4 (兼工芸室)	40 m <sup>2</sup> 程度	<ul style="list-style-type: none"> <li>陶芸だけでなく、工作もできる工芸室</li> </ul>
	子育て支援機能	プレイルーム	70 m <sup>2</sup> 程度	<ul style="list-style-type: none"> <li>子どもが安心して遊べ、親世代の交流場所にもなる部屋づくり (現況機能の継承)</li> </ul>
	図書館機能	図書室	40 m <sup>2</sup> 程度	<ul style="list-style-type: none"> <li>中央図書館分室として 10,000 冊程度の蔵書</li> </ul>
	行政窓口機能	市民センター (兼公民館事務室)	70 m <sup>2</sup> 程度	<ul style="list-style-type: none"> <li>出張所機能を継承。事務室は公民館と兼用</li> </ul>
	交流機能	ロビー	100 m <sup>2</sup> 程度	<ul style="list-style-type: none"> <li>誰もが立寄り・集いやすい雰囲気</li> </ul>
	管理・衛生等	倉庫	40 m <sup>2</sup> 程度	<ul style="list-style-type: none"> <li>備品、書類・資料等の保管用</li> </ul>
		トイレ	50 m <sup>2</sup> 程度	<ul style="list-style-type: none"> <li>おむつ交換台や授乳室等、子育て世代が利用しやすい施設設備の検討</li> </ul>
災害拠点機能	防災倉庫		<ul style="list-style-type: none"> <li>講堂から利用しやすい配置 (屋外に設置)</li> </ul>	
その他	駐車場		<ul style="list-style-type: none"> <li>60 台程度。移動図書館の駐停車場所や、地区文化祭等のイベント利用も想定。</li> <li>雨天時に送迎利用者や図書(中央図書館より搬入出)が濡れないよう、ポーチに面する位置に配置する</li> </ul>	
施設②	保育機能 (児童福祉)	保育園		<ul style="list-style-type: none"> <li>中保育園・小糸保育園を統合し定員 90 人程度の保育所として整備</li> <li>セキュリティの観点から建物や園庭は拠点施設とは分離・別棟として整備</li> <li>※民営化 (敷地外整備も含む) も選択肢として検討する。</li> </ul>

(5)公民館・市民センター整備イメージ

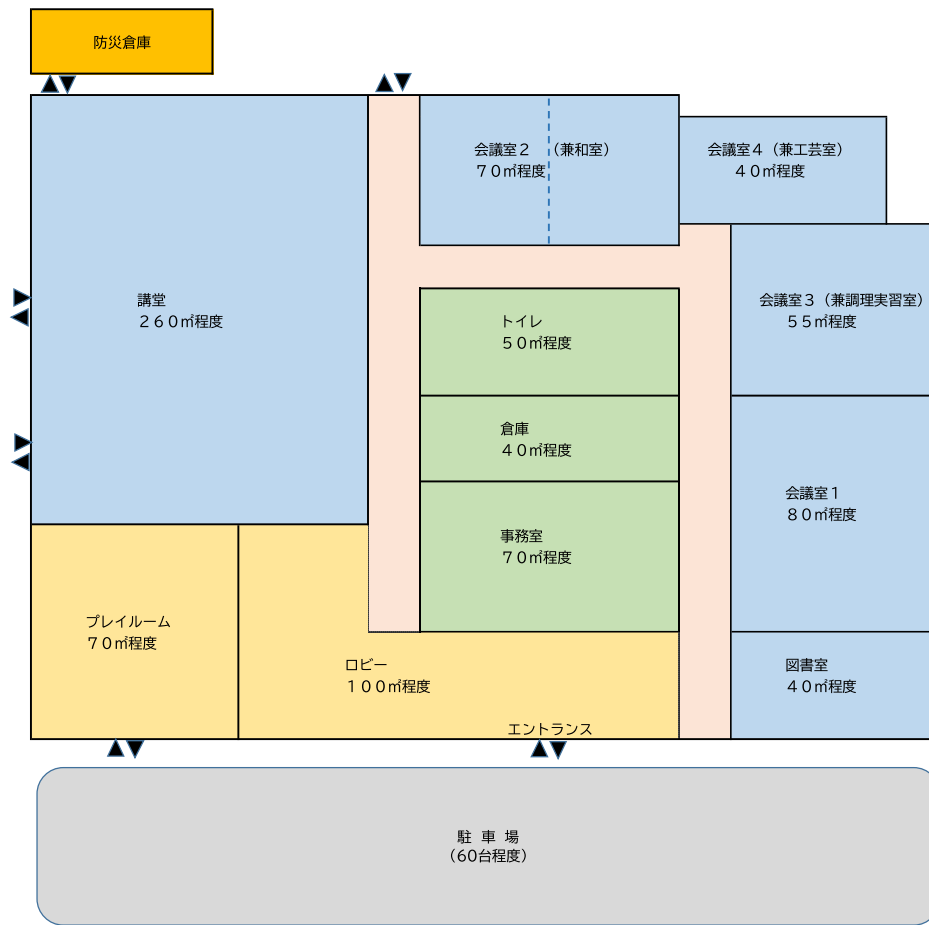


図6-5 レイアウトイメージ図(公民館・市民センター)

※現段階での整備イメージであり、今後、官民連携等による計画の具体化を進める中でレイアウト変更等が生じる可能性がある。



### 6.3 小櫃地区:拠点施設

#### (1)コンセプト

ワークショップでの意見を踏まえ、小櫃地区拠点施設の再整備コンセプトを以下のとおり定めました。

### 豊かなコミュニティのもと 安心して住み続けられるまちを創る拠点

- バリアフリー対応とし子どもから高齢者まで誰もが使いやすい、様々な活動を受け容れる施設のつくり
- 地域の“憩いの場”として気軽に立ち寄り、集える空間づくりによる、昔からの住民と新しい住民の交流促進
- 診療所の併設による保健衛生・健康づくり機能の強化

#### (2)地区内の公共施設の再編整理(集約化等の考え方)

小櫃公民館を軸として、地区内の老朽化した施設の再編整備を検討します。



図6-6 再編対象施設

### (3)立地および拠点形成の考え方

現在の小櫃公民館の立地を基本とし、周辺施設の機能を効率的に配置することにより拠点施設の整備を図ります。

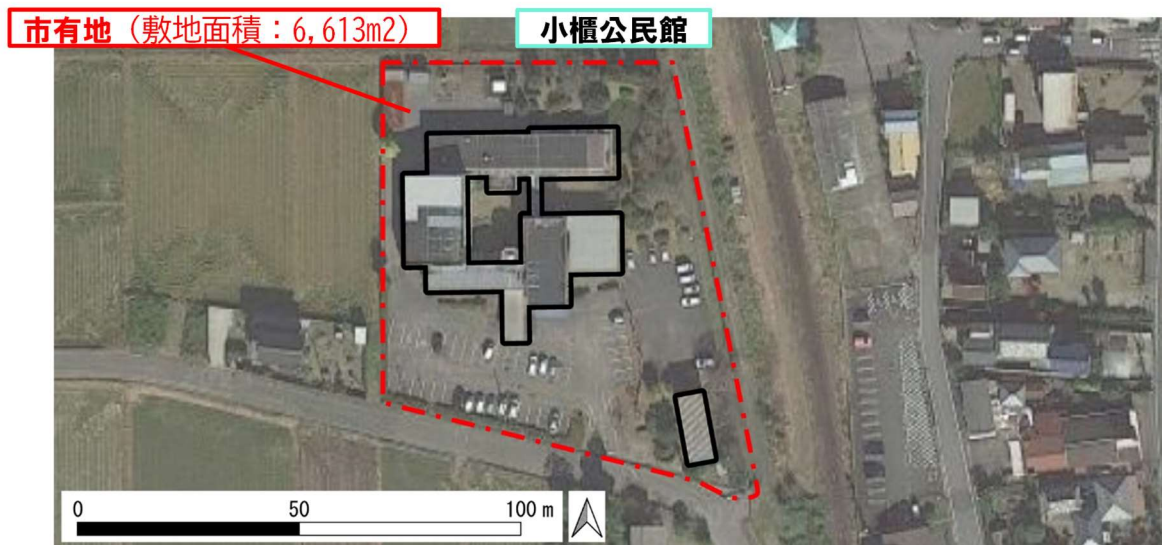


図6-7 立地および拠点形成の考え方

## (4)導入予定機能・規模

表6-3 導入予定機能・規模イメージ

	機能分類	主な諸室	規模	整備の考え方
施設①	公民館機能 (生涯学習機能、 集会機能 等)	講堂	260 m <sup>2</sup> 程度	<ul style="list-style-type: none"> <li>集会や講演会等の利用として地域住民が集える十分なスペースの確保</li> <li>卓球等の屋内スポーツができる造り</li> <li>発災時の避難場所として安心して過ごしやすい空間</li> </ul>
		会議室 1 (研修室)	80 m <sup>2</sup> 程度	<ul style="list-style-type: none"> <li>40 人程度の利用を想定</li> <li>会議室のほかダンス等の多用途に使用できるつくりとする</li> </ul>
		会議室 2 (兼和室)	70 m <sup>2</sup> 程度	<ul style="list-style-type: none"> <li>30 人程度の利用を想定</li> <li>畳表を敷くことで和室としての機能も持たせる</li> <li>2 分割し、片側の部屋には茶室の機能を持たせる</li> </ul>
		会議室 3 (兼調理実習室)	55 m <sup>2</sup> 程度	<ul style="list-style-type: none"> <li>20 人程度の利用を想定</li> <li>調理台に天板を置き会議室としての利用もできるつくりとする</li> <li>災害時の活用も想定したつくりとする</li> </ul>
	図書館機能	図書コーナー ※ロビーに併設	—	中央図書館分室(図書サービスコーナー)として 1,500 冊程度の蔵書
	行政窓口機能	市民センター (兼公民館事務室)	70 m <sup>2</sup> 程度	出張所機能を継承。事務室は公民館と兼用
	交流機能	ロビー	200 m <sup>2</sup> 程度	誰もが立寄り・集いやすい雰囲気
	管理・衛生等	倉庫	40 m <sup>2</sup> 程度	備品、書類・資料等の保管用
		トイレ	50 m <sup>2</sup> 程度	おむつ交換台や授乳室等、子育て世代が利用しやすい施設設備の検討
	災害拠点機能	防災倉庫		講堂から利用しやすい配置(屋外に設置)
その他	駐車場		<ul style="list-style-type: none"> <li>60 台程度。移動図書館の駐停車場所や、地区文化祭等のイベント利用も想定。</li> <li>雨天時に送迎利用者や図書(中央図書館より搬入出)が濡れないよう、ポーチに面する位置に配置する</li> </ul>	
施設②	診療所機能 (医療・保健)	小櫃診療所	330 m <sup>2</sup> 程度	拠点施設への複合化、併設を検討する。ただし、導入可能性調査により、より有利な提案があれば単独整備も検討する。

(5)公民館・市民センター整備イメージ

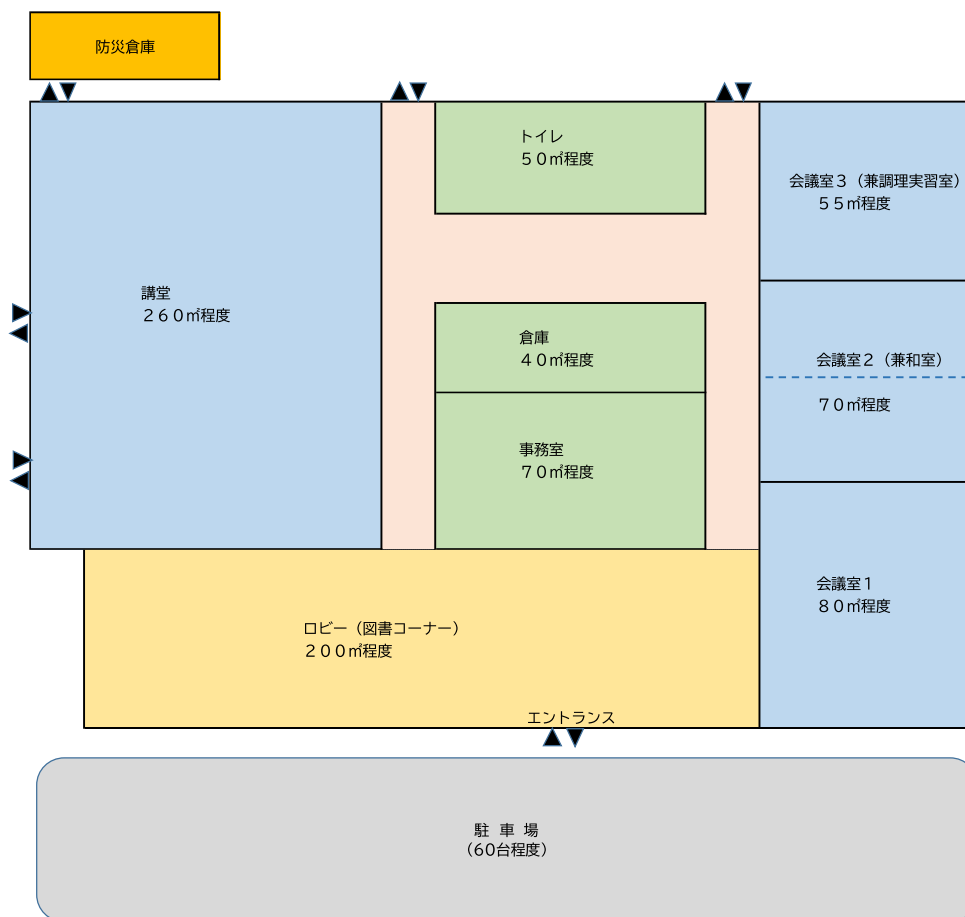


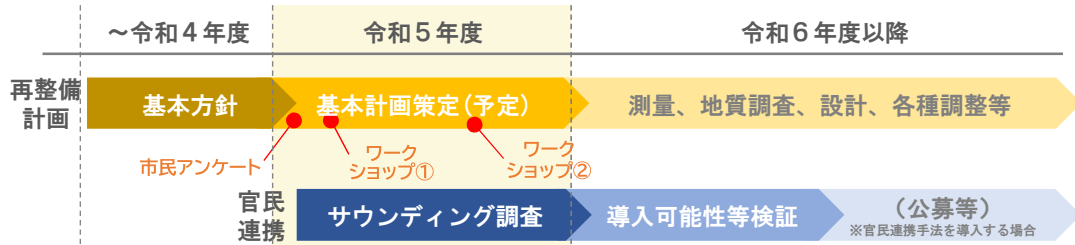
図6-8 レイアウトイメージ図(公民館・市民センター)

※現段階での整備イメージであり、今後、官民連携等による計画の具体化を進める中でレイアウト変更等が生じる可能性がある。

## 7 事業スケジュール

- ・ 令和6年度より、官民連携による計画の具体化を進めます。
- ・ 3地区の施設整備を並行して進めることは難しいため、段階的に整備を進めるものとします。

表7-1 事業スケジュール(想定)



## 8 【巻末資料】用語集

DX	デジタル・トランスフォーメーション(Digital Transformation)の略称で、情報通信技術の浸透が生活をあらゆる面でより良い方向に変化させること。
PFI	プライベート・ファイナンス・イニシアティブ(Private Finance Initiative)の略称で、公共施設等の建設、維持管理、運営等を民間の資金、経営能力および技術的能力を活用して行う手法。
PPP	パブリック・プライベート・パートナーシップ(Public Private Partnership)の略称で、公共施設の建設、維持管理、運営等を行政と民間が連携して行うことにより、民間の創意工夫等を活用し、財政資金の効率的使用や行政の効率化等を図るもの。指定管理者制度やPFIなどの様々な方式がある。
SI	スケルトン・インフィル(Skeleton Infill)の略称。建物のスケルトン(柱・梁・床等の構造躯体)とインフィル(内装・設備等)とを分離した工法。スケルトンは長期間の耐久性を重視し、インフィル部分は多様なニーズに応じて自由に変えられる可変性を重視して造られるもの。
再生可能エネルギー	「エネルギー源として持続的に利用することができる」として規定されるエネルギーで、太陽光、風力、水力、地熱、太陽熱、大気中の熱その他の自然界にある熱、バイオマスがある。資源の枯渇のおそれが少なく、環境への負荷が小さいという特徴を持っている。
サウンディング調査	事業発案段階や事業化検討段階において、事業内容や事業スキーム等に関して、直接の対話により民間事業者の意見や新たな事業提案の把握等を行うことで、対象事業の検討を進展させるための情報収集を目的とした手法。
生涯学習	人々が生涯にわたり行うあらゆる学習のことで、学校教育、家庭教育、社会教育、文化活動、スポーツ活動、レクリエーション活動、ボランティア活動、企業内教育、趣味など様々な場や機会において行う学習が含まれる。
脱炭素化	低炭素の電源や再生可能エネルギーを利用してCO <sub>2</sub> の排出を削減・消滅させ、持続可能な環境に向けてビジネスや生活のあり方を見直すこと。
長寿命化	老朽化した建築物や土木構造物の物理的な不具合を直したり、定期的な点検等により劣化を未然に防いだりすることにより、耐用年数を延ばすこと。
土砂災害警戒区域/ 土砂災害特別警戒区域	集中豪雨や台風等により土砂災害が発生した場合、住民の生命・身体に危害が生ずるおそれがあると認められる土地の区域のこと。「土砂災害警戒区域等における土砂災害防止対策の推進に関する法律(通称:土砂災害防止法)」に基づき区域指定されるもので、本市における指定区域は「君津市土砂災害ハザードマップ」より確認することができる。
バリアフリー	高齢者や障害者等が生活していく上で障壁(バリア)となるものを除去(フリー)すること。物理的、社会的、制度的、心理的、情報面など、さまざまな障壁がバリアフリーの対象となる。
バンドリング	同種又は異種の複数施設を一括して事業化する手法。規模が小さく、単独ではPPP/PFI事業としての事業化が困難なものについては、一定程度の事業規模にして事業の成立性を高める工夫として、複数施設を一括して事業化する手法であるバンドリングが効果的とされている。
ユニバーサルデザイン	文化・言語の違い、老若男女といった差異、障がい・能力の如何を問わずに利用することができる施設・製品・情報の設計・デザインのこと。
ライフサイクルコスト	製品や構造物を取得・使用するために必要な費用の総額。企画・設計から維持・管理・廃棄に至る過程(ライフサイクル)で必要な経費の合計額をいう。略称:LCC(life cycle cost)
ワークショップ	さまざまな立場の人々が集まって、自由に意見を出し合い、互いの考えを尊重しながら、意見や提案をまとめ上げていく場。



君津市 公民館等再整備基本計画

【周南、小糸、小櫃地区】

令和6年(2024)3月

君津市 教育委員会 生涯学習文化課